

1. 基本情報						
事務事業番号	02424	事務事業名	きりしまフォトコンテスト開催事業	担当部	市民環境部	
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)		担当課	スポーツ・文化振興課	
施策名	003	次世代へつなぐ芸術文化活動の推進		担当課長	上小園 拓也	
基本事業名	001	芸術文化に触れ親しむ機会の充実		グループ	スポーツ・文化グループ	
予算科目	会計 一般会計	事業期間	単年度のみ 単年度繰返(開始年度 期間限定複数年度(内線番号	3981	
目	款 10 教育費	根拠法令・条等	特になし	平成16年度	~)	
目	項 06 社会教育費	関連計画	特になし	~)		
目	目 06 文化振興費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価			

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>						
(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)						
霧島の四季に富んだ自然風景、伝統行事、祭り、景色、産業、人々の暮らし、環境やジオパークに関するものなどを捉えた「自由部門」と、飛行機、空港で働く人々、出会い、別れなど鹿児島空港の魅力を様々な角度から捉えた「エアポート部門」の2部門で構成する写真の公募展。写真に対する関心を高めてもらうと共に、霧島の魅力を再発見し、郷土への愛着を深めてもらうことを目的とする。 応募作品撮影期間 1月~翌年1月						
【手順】 開催要項の決定 募集チラシの作成・広報 応募作品の受付 応募作品の審査 優秀作品の展示・表彰(各地区の巡回展も開催する) 出品料=1点目1,000円。2点目以降1点につき500円。各部門1人5点まで。(学生は無料)						
活動指標 (事務事業の活動量)						
	単位	平成31年度 (実績)	令和 2年度 (見込)	令和 3年度 (見込)	令和 4年度 (見込)	
ア 延べ展示日数	日	94	100	139	0	140
イ						
ウ						
(2) 事務事業の目的						
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (左記 対象の大きさを表す指標)	単位	平成31年度 (実績)	令和 2年度 (見込)	令和 3年度 (見込)	令和 4年度 (見込)
ア 市民	人口	人	124,367	124,181	124,882	123,908
イ						
ウ						
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (左記 意図の達成度を表す指標)	単位	平成31年度 (実績)	令和 2年度 (目標)	令和 3年度 (目標)	令和 4年度 (目標)
ア 写真に対する関心を高めてもらう	出品点数	点	425	500	529	0
イ 写真に対する関心を高めてもらう	出品者数	人	171	220	201	0
ウ 写真に対する関心を高めてもらう	市内出品者数	人	74	100	93	0
(3) 総合計画との関係						
基本事業の目的、取組方針(総合計画より)						
子どもの頃から身近な場所で良質な芸術・文化を鑑賞し、体験できる機会を提供するとともに、これまでの広報活動に加え、各種メディアなどを活用した積極的な情報発信に努めます。 また、関係機関と連携し、市民ニーズ等を踏まえた音楽・演劇などの芸術文化を享受できるイベントや、市民が優れた芸術に触れる機会の創出に努めます。						

3. 前年度の評価表に記載した課題		4. 事業費の推移					
令和 2年度の改善改革の内容(取り組むべき課題) 無料ウェブサイトや公募ガイド等に掲載するなど、作品募集についてより一層の周知・広報に努める。 審査や結果発表など運営方法について改善を図る。		単位	31年度 決算	2年度 当初予算	3年度 当初予算	4年度 計画	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	264	325	275	0
		一般財源	千円	191	261	278	0
	事業費	千円	455	586	553	0	

5. 令和 2年度の実績及び成果	
(1) 令和 2年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 令和 2年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
募集期間 令和 3年 1月 5日 ~ 1月 22日 展示期間 令和 3年 3月 6日 ~ 3月 18日(国分市、枕崎、市民ギャラリー) 巡回展 令和 3年 3月 23日 ~ 7月 30日(7会場) 出品点数 529点 出品者数 201人 市内出品点数 243点(国分136、溝辺6、横川7、牧園24、霧島2、隼人6、福山7) 市内出品者数 93人(国分48、溝辺3、横川3、牧園9、霧島2、隼人26、福山2) 市外出品点数 286点(鹿児島市97、始良市121、薩摩川内市11、湧水町11、その他県内25、県外21) 市外出品者数 108人(鹿児島市43、始良市36、薩摩川内市6、湧水町5、その他県内10、県外8)	昨年と比較すると応募点数が104点、応募者数が30人増加し、過去最高の応募数だった。原因としては公募ガイドや登竜門などのサイトを使った広報や審査員の変更等が考えられる。(歳入は62,500円増加) コロナ禍で航空機の便数が減少したこともあり、エアポート部門の応募数は例年とあまり変わらなかった。 市内応募者が46.3%(昨年比3%増)、市外(県内)応募者が49.7%(昨年比0.6%増)、県外応募者が4.0%(昨年比3.6%減)で、コロナ禍の影響が例年より市内応募者が増加し、県外応募者は減少した。 市内地区別の出品状況は国分、隼人の次に牧園が多かった。

事務事業 番号	02424	事務 事業名	きりしまフォトコンテスト開催事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振り返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
B 有効性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
C 効率性	事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ 補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
D 公平性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	

総合評価判定基準	総合評価	理由
A: 継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B: 事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C: 事業の統合、休・廃止の検討	A	近隣市町村でも様々な写真コンテストが開催されているが、「霧島」「空港」に特化したコンテストは本市にしかできない。本事業があることで、写真愛好家のモチベーションが上がることはもちろん、鑑賞者に霧島の魅力を伝えることができる。撮影のために本市を訪れる市外住民も多い。また、入賞作品は市が作成する資料等の素材としても活用されている。継続して取り組むことが適当だが、写真素材も多く保存されていることから、今後隔年開催とする。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業(成果)の方向性	拡充			
	維持			レ	
(2) 令和3年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	縮小				
	休廃止(統合含む)				
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入(予算)の方向性			
(3) 令和4年度の方向性(具体的な取組)	霧島と空港をテーマに始まった公募展ではあるが、似たような構図など出品作品のマンネリ化が見られる。これまでの積み重ねも大切につつ、「暮らし」や「人物」など新たなテーマを設けるなど改革を検討したい。				

8. 2次評価結果(担当部長評価)		評価者	職・氏名
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業(成果)の方向性	拡充	
	維持		
(2) 総評	縮小		
	休廃止(統合含む)		
		皆減	縮小 維持 拡大
		コスト投入(予算)の方向性	

1. 基本情報						
事務事業番号	02425	事務事業名	きりしま美術展開催事業	担当部	市民環境部	
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)		担当課	スポーツ・文化振興課	
施策名	003	次世代へつなぐ芸術文化活動の推進		担当課長	上小園 拓也	
基本事業名	001	芸術文化に触れ親しむ機会の充実		グループ	スポーツ・文化グループ	
予算科目目	会計 一般会計 10 教育費 06 社会教育費 06 文化振興費	事業期間	単年度のみ 単年度繰返(開始年度 平成16年度 ~) 期間限定複数年度(~)			
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	根拠法令・条例等	特になし	
				関連計画	特になし	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

平成16年に国分市制施行50周年と舞鶴城築城400周年を記念して「国分市美術展」として初開催。平成17年は「きりしまいきいき塾」事業の一環として開催され、合併後の平成18年からは「霧島市美術展」と名称を変更し、旧霧島町で開催していた「8号洋画展」をテーマ部門として位置づけ開催した。平成22年は市制50周年記念として「こども絵画展」を同時開催し、翌23年から「こども絵画展」を「ジュニア部門」として編入した。平成25年から「全国公募」を開始、平成29年から名称を「きりしま美術大賞展」へ変更し現在に至っている。

美術展の運営については、実行委員会を組織している。

【手順】

実行委員会(開催要項決定など) ポスター・チラシ作成 広報 実行委員会(具体的な実施方法について)
 搬入(8月下旬~9月上旬) 審査(9月上旬) 表彰式及び展示(10月上旬) 搬出(10月中~下旬)
 巡回展(松下美術館)(10~11月) 実行委員会(精算事務)
 出品料=1点3,000円。各部門1人3点まで。(ジュニア部門は1人1点、応募無料)

活動指標(事務事業の活動量)	単位	平成31年度(実績)	令和2年度(見込)	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)	令和4年度(見込)
ア 延べ展示日数	日	28	0	0	27	27
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

対象(誰、何を対象にしているのか)	対象指標(左記対象の大きさを表す指標)	単位	平成31年度(実績)	令和2年度(見込)	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)	令和4年度(見込)
ア 市民	人口	人	124,367	124,181	124,882	123,908	123,639
イ							
ウ							

意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(左記意図の達成度を表す指標)	単位	平成31年度(実績)	令和2年度(目標)	令和2年度(実績)	令和3年度(目標)	令和4年度(目標)
ア 美術に対する関心を高めてもらう	出品点数	点	2,991	0	0	2,900	2,900
イ 美術に対する関心を高めてもらう	出品者数	人	2,936	0	0	2,750	2,800
ウ 美術に対する関心を高めてもらう	市内出品者数	人	2,884	0	0	2,600	2,650

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より)

子どもの頃から身近な場所で良質な芸術・文化を鑑賞し、体験できる機会を提供するとともに、これまでの広報活動に加え、各種メディアなどを活用した積極的な情報発信に努めます。
 また、関係機関と連携し、市民ニーズ等を踏まえた音楽・演劇などの芸術文化を享受できるイベントや、市民が優れた芸術に触れる機会の創出に努めます。

3. 前年度の評価表に記載した課題

令和2年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)
 今年度は事業休止。(「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会」と日程が重複する予定だったが、令和3年度は再開予定だったが、これまで作品の搬入、審査、保管に使用していた集人公民館会議室が使用できなくなることから、代替施設を確保する必要がある。また、事業規模や運営方法についても検討していく必要がある。

4. 事業費の推移

単位	31年度決算	2年度当初予算	2年度決算	3年度当初予算	4年度計画	
事業費 投入量	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	1,431	0	0	1,534
事業費	千円	1,431	0	0	1,534	1,534

5. 令和2年度の実績及び成果

(1) 令和2年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>

令和2年度は「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会」と日程が重複する予定だったため事業休止としたが、令和3年度の再開に向けて関係団体、関係者と協議を行った。

(2) 令和2年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

これまでの懸案事項であった「目的(方向性)をどうするか」に加え、令和3年度再開に向けての懸案事項であった搬入・審査・保管会場、組織体制、審査員変更等について一定の方向性を定め、関係団体、関係者と共有した。

事務事業 番号	02425	事務 事業名	きりしま美術展開催事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振り返り <SEE (check)>		
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公 平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		理由
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A 他市町で同様の公募展や美術団体ごとの展示会が行われているが、霧島に特化した部門を設けることで愛郷心を育み、未来を担う幼児・小中学生の豊かな心の醸成に寄与している。しかし、一般部門の出品者数が減少していることから、さらなる情報発信が必要である。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充			
	維 持			レ	
	縮 小				
	休廃止（統合含む）				
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
		コスト投入（予算）の方向性			
(2) 令和3年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	全国公募をうたっているが県外からの応募はまだ少ない状況なので、県外の美術系高校、大学への周知広報、公募サイト等SNSを活用した情報発信に努める。 コロナ禍での開催となるため、表彰式等密になる可能性が高いところについては徹底した対策を講じる。 同時期（令和3年10月）に「地域伝統芸能全国大会かごしま大会」が開催されるため、他課の協力をもらうなど事前にスタッフの確保に努める。				
(3) 令和4年度の方向性 (具体的な取組)	一般部門の出品者数は減少傾向にある。市内の愛好家を育成するとともに市外、県外からの応募者が増加するような対策を練る必要がある。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者				職・氏名	
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充					
	維 持						
	縮 小						
	休廃止（統合含む）						
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大		
		コスト投入（予算）の方向性					
(2) 総評							

1. 基本情報						
事務事業番号	02427	事務事業名	児童生徒芸術鑑賞会事業	担当部	市民環境部	
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)		担当課	スポーツ・文化振興課	
施策名	003	次世代へつなぐ芸術文化活動の推進		担当課長	上小園 拓也	
基本事業名	001	芸術文化に触れ親しむ機会の充実		グループ	スポーツ・文化グループ	
予算科目目	会計 一般会計 款 10 教育費 項 06 社会教育費 目 06 文化振興費	事業期間	単年度のみ 単年度繰返(開始年度 平成17年度 ~) 期間限定複数年度(~)			
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	根拠法令・条例等	特になし	
				関連計画	特になし	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)
市内の小中学生に良質な芸術・文化を鑑賞し、体験できる機会を提供することで、豊かな心の醸成を図る。

- ・小学生対象 = 市町村による青少年劇場(市内の小中学校に3年に1回音楽鑑賞の機会を提供する。)
- ・中学生対象 = 生徒芸術鑑賞会事業(市内の中中学校に3年に1回音楽鑑賞の機会を提供する。)
- ・小学6年生対象 = 劇団四季「こころの劇場」(市内の小学6年生全員を市民会館に招待し演劇鑑賞の機会を提供する。)
- ・その他芸術文化事業(文化庁・県主催等)

活動指標(事務事業の活動量)	単位	平成31年度(実績)	令和2年度(見込)	令和3年度(見込)	令和4年度(見込)
ア 舞台演劇・コンサートの開催数	回	14	11	17	13
イ					
ウ					

(2) 事務事業の目的

対象(誰、何を対象にしているのか)	対象指標(左記対象の大きさを表す指標)	単位	平成31年度(実績)	令和2年度(見込)	令和3年度(見込)	令和4年度(見込)
ア 霧島市内の中学生	霧島市内の中学生の数	人	3,511	3,600	3,497	3,600
イ 霧島市内の小学生	霧島市内の小中学生の数	人	7,501	7,500	7,463	7,500
ウ						

意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(左記意図の達成度を表す指標)	単位	平成31年度(実績)	令和2年度(目標)	令和3年度(目標)	令和4年度(目標)
ア 芸術に対する興味、関心を持ってもらう。	観劇した児童生徒数	人	5,801	5,800	2,500	5,800
イ						
ウ						

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より)
子どもの頃から身近な場所で良質な芸術・文化を鑑賞し、体験できる機会を提供するとともに、これまでの広報活動に加え、各種メディアなどを活用した積極的な情報発信に努めます。
また、関係機関と連携し、市民ニーズ等を踏まえた音楽・演劇などの芸術文化を享受できるイベントや、市民が優れた芸術に触れる機会の創出に努めます。

3. 前年度の評価表に記載した課題

令和2年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)
小学生対象の青少年劇場は3年毎にメニューを見直ししており、昨年度から弦楽四重奏、を、今年度も同様の内容で中学生対象の生徒芸術鑑賞会事業は霧島市の「おとけコンサート」を実施し、吹奏楽部や音楽部などのレベル向上や霧島国際音楽祭のPRを図る。「こころの劇場」は劇団四季と調整し実施していく。全ての事業について、今年度は新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、実施時期、実施方法を検討していく。

4. 事業費の推移

事業費	単位	31年度	2年度		3年度	4年度
		決算	当初予算	決算	当初予算	計画
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
県支出金	千円	0	0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
一般財源	千円	3,946	4,512	3,049	2,599	4,512
事業費	千円	3,946	4,512	3,049	2,599	4,512

5. 令和2年度の実績及び成果

(1) 令和2年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 令和2年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
1 青少年劇場「弦楽四重奏団 Bienen Quartet」7公演(12校) 上小川小5~6年、国分小5~6年、日当山小5~6年(中福良小1~6年)、高千穂小1~6年(中津川小1~6年、持松小1~6年)、 溝辺小1~6年(竹子小1~6年)、向花小(4年、6年)、小野小1~6年(小浜小1~6年) 1,319人	青少年劇場では全国で活躍するアーティストの生演奏を、生徒芸術鑑賞会事業では県内アーティストの生演奏を披露し、市内の小中学生に良質な芸術・文化に触れる機会を提供することができた。 劇団四季「こころの劇場」は劇団側の都合で、令和2年度、令和3年度は中止となった。
2 生徒芸術鑑賞会「おとけコンサート」5公演(5校) 霧島中1~3年、牧之原中1~3年、隼人中3年のみ、若駒分校1~3年、日当山中1~3年 836人	文化庁巡回公演事業は当初計画していた事業は新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け中止となったが、追加分として4校でミュージカル公演を実施、県青少年のための芸術鑑賞事業はバレエ公演を行った。
3 劇団四季「こころの劇場」 中止	全ての事業において、新型コロナウイルス感染症の影響による中止、延期、日程変更、内容変更等を余儀なくされ、観劇した児童生徒数は昨年度より3,301人減少した。実施した事業については、検温、手指消毒はもちろん大規模校については鑑賞人数を制限するなどの徹底したコロナ対策を講じた。
4 その他芸術文化事業(文化庁・県主催)の活用 (文化庁巡回公演追加分)横川小1~6年、福山小1~6年、溝辺小1~6年、竹子小1~6年 324人 (県青少年のための芸術鑑賞事業)塚脇小1~6年 21人	

事務事業 番号	02427	事務 事業名	児童生徒芸術鑑賞会事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振り返り <SEE (check)>		
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		総合評価
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A
		理由 感受性の高い児童生徒の感性を高めるためには優れた芸術文化を体感させることが重要であり、次世代を担う子どもたちの豊かな心の醸成に寄与する事業であるため継続して取り組むことが適当である。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充			
	維 持			レ	
	縮 小				
	休廃止（統合含む）				
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
コスト投入（予算）の方向性					
(2) 令和3年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	小学生対象の青少年劇場（音楽）は3年毎にメニューを見直しており、令和元年度から「弦楽四重奏」を実施。令和3年度まで同様の予定。中学生対象の生徒芸術鑑賞会事業はみやまコンセルの「おとどけコンサート」を実施し、吹奏楽部や音楽部などのレベル向上や霧島国際音楽祭のPRを図る。劇団四季「こころの劇場」は劇団側の都合で中止。 全ての事業について、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、実施時期、実施方法等を検討していく。				
(3) 令和4年度の方向性 (具体的な取組)	全ての児童生徒に小学生のうちに2回、中学生のうちに1回芸術鑑賞の機会を、小学6年生で演劇鑑賞の機会を提供しており、今後も継続していく。劇団四季「こころの劇場」の再開が可能か劇団側と調整を行う。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者				職・氏名	
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充					
	維 持						
	縮 小						
	休廃止（統合含む）						
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大		
コスト投入（予算）の方向性							
(2) 総評							

1. 基本情報						
事務事業番号	02428	事務事業名	霧島市民会館管理運営事業	担当部	市民環境部	
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)		担当課	スポーツ・文化振興課	
施策名	003	次世代へつなぐ芸術文化活動の推進		担当課長	上小園 拓也	
基本事業名	001	芸術文化に触れ親しむ機会の充実		グループ	施設管理グループ	
予算科目目	会計 一般会計 款 10 教育費 項 06 社会教育費 目 06 文化振興費	事業期間	単年度のみ 単年度繰返(開始年度 ~) 期間限定複数年度(平成30年度 ~ 令和4年度)			
評価区分	標準評価	評価対象	2次評価	根拠法令・条例等	関連計画	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)
 会館の管理運営及び自主文化事業の企画運営も含め「(株)舞研」を指定管理者として委託し、新たに5年間の指定管理が開始された。施設や設備に修繕が必要とされた場合は、年間におおむね100,000円までは指定管理者の負担、それを超える部分は市の負担としている。(基本協定書第15条第2項)
 [施設の概要]
 開館日 昭和42年7月19日(平成11年10月16日リニューアル)
 延べ床面積 4,472㎡
 座席数 固定席1,044 うち車椅子席6 親子席12
 休館日 毎月第1月曜日、年末年始 開館時間 午前9時~午後10時

活動指標(事務事業の活動量)	単位	平成31年度(実績)	令和2年度(見込)	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)	令和4年度(見込)
ア 会館日数	日	348	347	347	348	348
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

対象(誰、何を対象にしているのか)	対象指標(左記対象の大きさを表す指標)	単位	平成31年度(実績)	令和2年度(見込)	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)	令和4年度(見込)
ア 市民	人口	人	124,367	124,181	124,882	123,908	123,639
イ							
ウ							

意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(左記意図の達成度を表す指標)	単位	平成31年度(実績)	令和2年度(目標)	令和2年度(実績)	令和3年度(目標)	令和4年度(目標)
ア 文化的催し物を鑑賞してもらおう	総入場者数	人	53,690	69,600	21,898	69,600	69,600
イ 稼働日数	貸し館等の利用があった日数	人	240	347	141	348	348
ウ 稼働日数(ホール)	ホールの利用があった日数	日	196	202	103	202	202

(3) 総合計画との関係
基本事業の目的、取組方針(総合計画より)
 子どもの頃から身近な場所で良質な芸術・文化を鑑賞し、体験できる機会を提供するとともに、これまでの広報活動に加え、各種メディアなどを活用した積極的な情報発信に努めます。
 また、関係機関と連携し、市民ニーズ等を踏まえた音楽・演劇などの芸術文化を享受できるイベントや、市民が優れた芸術に触れる機会の創出に努めます。

3. 前年度の評価表に記載した課題		4. 事業費の推移						
令和2年度の改善改革の内容(取り組むべき課題) 自主文化事業のメニュー選定については、質の高い舞台芸術に触れることで市民の文化意識の向上につながる内容になるよう企画段階から指定管理者と十分な協議を行いながら計画していく。市民会館は建築されてから54年、大規模リニューアルから22年が経過することから、霧島市民会館の今後のあり方を検討する。		単位	31年度決算	2年度当初予算	2年度決算	3年度当初予算	4年度計画	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	466	0	
		県支出金	千円	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	
		その他	千円	5,555	5,500	3,404	5,352	
		一般財源	千円	50,619	46,387	57,386	49,393	
事業費		千円	56,174	51,887	61,256	54,745		

5. 令和2年度の実績及び成果

(1) 令和2年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>
 自主文化事業をはじめ、芸術文化団体の芸術祭や文化祭の開催、幼保園の発表会、小中高校の文化部活動及び吹奏楽部演奏会などに利用された。また、霧島市事業として成人式や健康福祉祭りなどに利用された。年間を通じて85件、21,898人が利用した。その内、市民会館自主文化事業として4つのプログラムを実施し、661人の方々が鑑賞や体験をした。

(2) 令和2年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
 文化協会等の芸術祭や、学校の発表会に場所を提供することにより、市民が芸術文化を発信することができた。また、市民会館自主文化事業、コンサートや演奏会が開催されることにより市民が音楽や舞台などの芸術に親しむことができた。コロナ禍での難しい施設運営となったが、入場の際の密を防ぐこと等を目的としてサーモグラフィーを購入するなど、指定管理者と協働し各感染予防ガイドラインに基づき対策を行い、利用者の安全を図った。

事務事業 番号	02428	事務 事業名	霧島市民会館管理運営事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振り返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効性	成果が向上する余地（可能性）はありますか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		理由
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A 市民会館は、芸術文化の拠点施設である。現在、指定管理者制度を導入し、円滑に運営を行っている。公共性の高い施設である為、市費を投じるのは妥当と言える。自主文化事業を通し、質の高い舞台芸術に市民が触れられる機会を設けている。しかし、施設の老朽化などハード面の問題があるため、施設の今後のあり方を検討する必要がある。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業(成果)の方向性	拡充			レ
		維持			
		縮小			
	休廃止(統合含む)				
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入(予算)の方向性			
(2) 令和3年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	<ul style="list-style-type: none"> ・市自主文化事業のメニュー選定については、質の高い舞台芸術に触れることで市民の文化意識の向上につながる内容になるよう企画段階から指定管理者と十分な協議を行いながら計画していく。 ・建築後50年以上、大規模リニューアル後20年以上経過し、老朽化が進行しているため、複数年にわたる大規模改修を計画的に行う必要がある。 ・各ガイドラインに基づき、新型コロナウイルスの感染拡大予防に努める。 				
(3) 令和4年度の方向性(具体的な取組)	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模改修を計画的に実施する。 ・新型コロナウイルスの感染対策を徹底し、適切な施設運営を行う。 				

8. 2次評価結果(担当部長評価)		評価者	職・氏名	市民環境部長	本村 成明
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業(成果)の方向性	拡充			レ
		維持			
		縮小			
	休廃止(統合含む)				
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入(予算)の方向性			
(2) 総評	霧島市の芸術文化の拠点として、重要な施設である。市民の利用状況や老朽化の程度、財源の面から改修の時期を検討しつつ、計画的に改修を行っていく必要がある。				

1. 基本情報						
事務事業番号	02429	事務事業名	文化芸術支援事業	担当部	市民環境部	
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)		担当課	スポーツ・文化振興課	
施策名	003	次世代へつなぐ芸術文化活動の推進		担当課長	上小園 拓也	
基本事業名	002	芸術文化活動を実践する市民及び団体への支援		グループ	スポーツ・文化グループ	
予算科目	会計 一般会計	事業期間	単年度のみ 単年度繰返(開始年度 平成 8年度 ~) 期間限定複数年度(~)			
目	款 10 教育費	根拠法令・条約等	特になし			
	項 06 社会教育費	評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	
	目 06 文化振興費	関連計画	特になし			

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>
(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)
 スポーツ・文化振興課が所管する芸術文化団体(霧島市文化協会・霧島市少年少女合唱団・霧島神楽振興会及び霧島国際音楽祭・霧島国際音楽祭交流会)が行っている活動は本市の芸術文化振興に多大な貢献をしていることから、補助金を交付してその運営の継承及び安定化を図っている。

活動指標(事務事業の活動量)	単位	平成31年度(実績)	令和2年度(見込)	令和3年度(見込)	令和4年度(見込)
ア 補助を行った団体数	団体	5	5	3	5
イ					
ウ					

(2) 事務事業の目的

対象(誰、何を対象にしているのか)	対象指標(左記対象の大きさを表す指標)	単位	平成31年度(実績)	令和2年度(見込)	令和3年度(見込)	令和4年度(見込)
ア 補助団体	補助団体数	団体	5	5	5	5
イ						
ウ						

意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(左記意図の達成度を表す指標)	単位	平成31年度(実績)	令和2年度(目標)	令和3年度(目標)	令和4年度(目標)
ア 適切に運営される	適切に運営された団体数	団体	5	5	4	5
イ						
ウ						

(3) 総合計画との関係
基本事業の目的、取組方針(総合計画より)
 市民の自主的な芸術・文化活動により、多くの市民が芸術文化に親しめる機会が増えるよう、市民活動の支援に取り組みます。また、市文化協会や関係団体など、積極的に活動する芸術文化団体への支援や団体相互の交流の推進により、活動の活性化を図るとともに、芸術文化を支える人材の育成に努めます。

3. 前年度の評価表に記載した課題
 令和2年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)
 文化協会、神楽振興会において高齢化による会員の減少が顕著になりつつあり、新構成員の加入促進が課題である。また、活動が困難になりつつある文化協会支部もあり、支部活動のあり方について検討する時期を迎えている。

4. 事業費の推移

事業費	単位	31年度	2年度		3年度	4年度
		決算	当初予算	決算	当初予算	計画
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
県支出金	千円	0	0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	1,232	0	0	0	0
一般財源	千円	8,081	9,184	8,476	9,184	9,184
事業費	千円	9,313	9,184	8,476	9,184	9,184

5. 令和2年度の実績及び成果

(1) 令和2年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 令和2年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
文化協会は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、例年支部ごとに実施している文化祭の中止や内容変更等を余儀なくされたが、できる範囲での活動を行った。(補助金額:1,143,000円/一部返納) 少年少女合唱団はほとんどの行事やイベントが中止、延期となったが、感染防止対策を徹底しながら練習を続け、関係者のみのミュージカル発表会を開催した。(補助金額:0円/全額返納) 霧島国際音楽祭は、日程、内容等の大幅な変更があったものの、徹底した感染防止対策を講じて冬の音楽祭として開催した。(補助金額:7,000,000円) 霧島国際音楽祭交流会は、新型コロナウイルス感染症対策が難しいことから中止とした。(補助金額:0円) 霧島神楽振興会は、無観客の配信ライブとなった天孫降臨霧島祭や郷土芸能の夕べに出演した。(補助金額:333,000円)	各団体ともにコロナ禍で思うように活動できない部分があったが、感染症対策を徹底しながら、できる範囲で活動を行った。 例年より回数は減少したものの、市民を含めた多くの方々に芸術文化に触れる機会を提供できた。

事務事業 番号	02429	事務 事業名	文化芸術支援事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振り返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公 平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		総合評価
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A
		理由 各団体の活動により、市民が芸術文化に触れるきっかけづくりができている。また芸術文化活動の受け皿となる団体の維持継承に市費を投じることは、多くの市民にその機会を与えることに繋がっていると考えられる。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充			
	維 持			レ	
	縮 小				
	休廃止（統合含む）				
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
		コスト投入（予算）の方向性			
(2) 令和 3年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	文化協会、霧島神楽振興会において高齢化による会員の減少が顕著になりつつあり、新規会員の加入促進が必要である。また、活動が困難になりつつある文化協会支部もあり、支部活動のあり方について検討する時期を迎えている。 前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら活動を実施していく。				
(3) 令和 4年度の方向性 (具体的な取組)	各団体ともに新規加入の促進を図るとともに、文化協会においては活動が困難になる可能性がある支部もあることから、組織のあり方を検討するよう助言を行う。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者				職・氏名	
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充					
	維 持						
	縮 小						
	休廃止（統合含む）						
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大		
		コスト投入（予算）の方向性					
(2) 総評							

1. 基本情報					
事務事業番号	02447	事務事業名	各地区スポーツ祭開催支援事業	担当部	市民環境部
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)		担当課長	上小園 拓也
施策名	004	スポーツを楽しむ環境づくりの推進		グループ	スポーツ・文化グループ
基本事業名	001	生涯スポーツの推進		内線番号	3981
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ 単年度繰返(開始年度 昭和33年度 ~) 期間限定複数年度(~)
	款	10 教育費			
	項	07 保健体育費			
目	02 社会体育振興費		根拠法令・条約等	霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市スポーツ振興計画

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

市内の各地区ごとにスポーツイベントを開催する事業。運営は市及び各地区実行委員会等が連携して行っている。全地区で大会を開催することで、練習や試合を通して日頃スポーツに取り組んでいない方の参加を促進し、スポーツを楽しんでもらうとともに、住民相互の親睦や地域の結束と融和を深める機会となっている。

【実施計画】
国分地区(ミニバレー、グラウンド・ゴルフ、ソフトボール)、溝辺地区(球技、駅伝ウォーキング)、横川地区(ミニバレー、グラウンド・ゴルフ、駅伝)、牧園地区(グラウンドゴルフ、ゲートボール、ミニ運動会、バレーボール、ゴルフ、ソフトボール)、霧島地区(バレー、ゲートボール、卓球、グラウンド・ゴルフ、レクリエーション)、隼人地区(ウォーキング、室内ベタンク、ソフトボール)、福山地区(ミニバレー、ゲートボール、パークゴルフ、グラウンド・ゴルフ)

活動指標(事務事業の活動量)	単位	平成31年度(実績)	令和2年度(見込)	令和3年度(見込)	令和4年度(見込)
ア 各地区スポーツ祭参加者数(7地区22競技)	人	3,410	4,000	370	4,000
イ					
ウ					

(2) 事務事業の目的

対象(誰、何を対象にしているのか)	対象指標(左記対象の大きさを表す指標)	単位	平成31年度(実績)	令和2年度(見込)	令和3年度(見込)	令和4年度(見込)
ア 霧島市居住者及び通勤者	人口	人	124,367	124,181	124,882	123,908
イ						
ウ						

意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(左記意図の達成度を表す指標)	単位	平成31年度(実績)	令和2年度(目標)	令和3年度(目標)	令和4年度(目標)
ア スポーツ祭を通して住民相互の親睦が図れる	スポーツ祭を通して親睦を図れた市民の数	人	3,410	5,000	370	5,500
イ						
ウ						

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より)

誰もが、それぞれの関心や適正に応じて、生涯にわたりスポーツに親しむことができる環境づくりに取り組み、ライフステージ等に応じたスポーツ活動を推進します。
また、地域住民により自主的・主体的に運営される総合型地域スポーツクラブの育成等、市民が主体的に参画できるスポーツ環境を整備するとともに、多様化するニーズや環境の変化に対応した、新たな視点によるスポーツ指導者やコーディネーター役を担うスポーツ推進委員の養成に努めます。さらに、第75回国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」、第20回全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」の開催に向け、市民と一体となり、気運の醸成に努め、霧島ならではの魅力溢れる大会を目指します。

3. 前年度の評価表に記載した課題

令和2年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)
より多くの市民が参加しスポーツを楽しむよう、日程や種目についてニーズ把握に努めるとともに、競技団体や地区を越えた取組についても、市民の意見を尊重し検討する。なお、競技団体でも市民を対象にした取り組みを実施しており、また競技によっては地区毎に実施しているものもあるため、今後、各競技団体や地区を越えた取組を市が調整し、地区を越えた市民の繋がりや事業費の削減に繋げる。

4. 事業費の推移

事業費	単位	31年度決算	2年度		3年度当初予算	4年度計画
			当初予算	決算		
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
県支出金	千円	0	0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
一般財源	千円	1,620	1,800	295	1,800	1,800
事業費	千円	1,620	1,800	295	1,800	1,800

5. 令和2年度の実績及び成果

(1) 令和2年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>

コロナ禍で、多くの事業を中止した。【実施事業：6 中止事業：21】
国分地区(ミニバレー：中止、グラウンドゴルフ：中止、ソフトボール：中止)補助金額0円
溝辺地区(球技：中止、駅伝：中止、ウォーキング)補助金額42,000円
横川地区(ミニバレー：中止、グラウンドゴルフ：中止、駅伝：中止)補助金額0円
牧園地区(グラウンドゴルフ、ゲートボール、ミニ運動会：中止、バレーボール：中止、ゴルフ、ソフトボール：中止)補助金額106,500円
霧島地区(バレー：中止、ゲートボール：中止、卓球：中止、グラウンド・ゴルフ：中止、レクリエーション：中止)補助金額0円
隼人地区(ウォーキング：中止、室内ベタンク：中止、ソフトボール：中止)補助金額6,070円
福山地区(ミニバレー：中止、ゲートボール：中止、パークゴルフ、グラウンド・ゴルフ)補助金額140,000円

(2) 令和2年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、計画していた事業の多くが中止となり、市民の運動機会の充実を図る取組が減少した。

事務事業 番号	02447	事務 事業名	各地区スポーツ祭開催支援事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		理由
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A 地区自治公民館やスポーツ推進委員等の市民の主体的な取組みであり、市が補助金交付や事務的補助を行うことは、参加者や観戦者のスポーツを、みる・する・支えるの観点から、スポーツをする機会の創出と、相互の親睦を図られ、市民のスポーツ活動が充実することから妥当である。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業(成果)の方向性	拡充			
		維持		レ	
		縮小			
	休廃止(統合含む)				
		皆減	縮小	維持	拡大
コスト投入(予算)の方向性					
(2) 令和3年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	より多くの市民が参加しスポーツを楽しめるよう、日程や種目についてニーズ把握に努めるとともに、競技団体や地区を越えた取組について検討する。 また、コロナ禍における大会開催のあり方について、協議、検討、調査等を行う。				
(3) 令和4年度の方向性(具体的な取組)	自主的な運営が図れるよう、引き続き各実行委員会への助言・指導を行い、年齢や性別、障がいの有無に関わらず誰もが楽しめるプログラムになるよう、実行委員会と協力し運営していきたい。 また、新型コロナウイルスの状況に配慮しながら、感染症対策及び参加者への注意喚起を行い、市民の運動機会の提供を行う。				

8. 2次評価結果(担当部長評価)		評価者	職・氏名
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業(成果)の方向性	拡充	
		維持	
		縮小	
	休廃止(統合含む)		
		皆減	縮小 維持 拡大
コスト投入(予算)の方向性			
(2) 総評			

1. 基本情報						
事務事業番号	02448	事務事業名	縄文の森駅伝大会開催事業	担当部	市民環境部	
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)		担当課長	上小園 拓也	
施策名	004	スポーツを楽しむ環境づくりの推進		グループ	スポーツ・文化G	
基本事業名	001	生涯スポーツの推進		内線番号	3982	
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	10	教育費		単年度繰返(開始年度 平成 3年度 ~)	
	項	07	保健体育費		期間限定複数年度(~)	
目	02	社会体育振興費		根拠法令・条等	霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市スポーツ振興計画	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

・場 所 上野原縄文の森 縄文の森の周知に関しては、県が中心に大会参加者への体験学習等を行い、展示館への無料見学を実施している。

・種 目 ジョギングの部 4.8km (高校生以上)、 2.4km (小・中学生)

駅伝の部 一般男女・混成・中学男女7区 9.6km、小学男女8区9.6km

・参加料 ジョギングの部 一般(高校生以上)3,000円/人・中学生以下2,000円/人

駅伝の部 一般(高校生以上)8,000円/チーム・中学生 7,000円/チーム・小学生 5,000円/チーム

主催は、霧島市・上野原縄文の森駅伝大会実行委員会。職員は実行委員会事務局員として、会場の設営、コースの確認、協賛金の依頼・徴収、大会運営などを主体的に行っている。県内外からの参加があり駅伝競技としては県内でも位置づけられた大会に成長しており、市の魅力度アップにつながっている。最近では自動計測システムを導入し参加者へのスピーディな記録集計を行っている。

令和元年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から中止となり、令和2年度の第30回記念大会は次年度へ延期となった。

活動指標 (事務事業の活動量)	単位	平成31年度 (実績)	令和 2年度 (見込)	令和 2年度 (実績)	令和 3年度 (見込)	令和 4年度 (見込)
ア 駅伝コース(部門)の数	コース・部門	7	7	0	7	7
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (左記 対象の大きさを表す指標)	単位	平成31年度 (実績)	令和 2年度 (見込)	令和 2年度 (実績)	令和 3年度 (見込)	令和 4年度 (見込)
ア 縄文の森駅伝大会参加者	縄文の森駅伝大会参加者数	人	0	1,900	0	1,900	1,900
イ							
ウ							
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (左記 意図の達成度を表す指標)	単位	平成31年度 (実績)	令和 2年度 (目標)	令和 2年度 (実績)	令和 3年度 (目標)	令和 4年度 (目標)
ア ジョギングや駅伝を楽しんでもらう	ジョギング・駅伝を楽しめた人の割合%		0	100	0	100	100
イ 上野原縄文の森を知ってもらう	来場者数(イベント参加者数)	人	0	5,500	0	5,500	5,500
ウ							

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より)

誰もが、それぞれの関心や適正に応じて、生涯にわたりスポーツに親しむことができる環境づくりに取り組み、ライフステージ等に応じたスポーツ活動を推進します。

また、地域住民により自主的・主体的に運営される総合型地域スポーツクラブの育成等、市民が主体的に参画できるスポーツ環境を整備するとともに、多様化するニーズや環境の変化に対応した、新たな視点によるスポーツ指導者やコーディネーター役を担うスポーツ推進委員の養成に努めます。さらに、第75回国民体育大会「燃ゆる感動がこしま国体」、第20回全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動がこしま大会」の開催に向け、市民と一体となり、気運の醸成に努め、霧島ならではの魅力溢れる大会を目指します。

3. 前年度の評価表に記載した課題

令和2年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)

参加者や来場者に本大会を楽しんでいただくことは、大会を通じてより多くの方が運動や健康に関心を持ってもらうほか、市内外・県内外、若者男女を問わず参加できるよう大会ホームページ等を活用しながら広報に努める。

近年、鹿島マラソンやこばやし霧島連山絶景マラソン大会等の開催に伴い、参加者がやや減少傾向にあるため、資金面において、大会運営が、非常に厳しい状況になってきている。新たな参加者の確保や協賛企業への支援をいたさなければならない。

令和2年度は、第30回記念大会であることから、呼び水となるような取組を行い、さらなる参加者の増加を図る。

4. 事業費の推移

事業費	単位	31年度 決算	2年度		3年度 当初予算	4年度 計画
			当初予算	決算		
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
県支出金	千円	0	0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	2,500	0
一般財源	千円	1,618	2,000	0	0	2,500
事業費	千円	1,618	2,000	0	2,500	2,500

5. 令和2年度の実績及び成果

(1) 令和2年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 令和2年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
令和元年度が中止となり、30回記念大会実施の可能性を模索したが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から次年度へ延期となった。	駅伝大会延期により事業成果を上げることができなかったが、協賛企業、関係者の方々に速やかに延期の連絡を行い、引き続き次回大会への参加、支援等を要請した。

事務事業 番号	02448	事務 事業名	縄文の森駅伝大会開催事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振り返り <SEE (check) >			
A 目的 妥当性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？	
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である	
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である	
	結びついていない	見直す必要がある	
B 有効性	成果が向上する余地（可能性）はありますか？	廃止・休止の影響はありませんか？	
	向上する余地はかなりある	影響がある	
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある	
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない	
C 効率性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	
	削減できない	削減できない	
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある	
	削減できる	削減できる	
D 公平性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？		
	公平・公正である		
	見直す必要がある		
総合評価判定基準		総合評価	理由
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A	縄文の森駅伝大会参加者の運動習慣を継続する機会となりスポーツ振興に寄与する。また、市外からの参加者に上野原縄文の森を知ってもらうことで市の観光PRとなっている。さらに、地元企業の協賛、霧島青年会議所による舞鶴鍋振る舞い、学生ボランティアによる参画は、市民の交流やまちづくりの意識向上等に非常に重要と考えている。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充			
	維持			レ	
	縮小				
	休廃止（統合含む）				
		皆減	縮小	維持	拡大
コスト投入（予算）の方向性					
(2) 令和3年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	大会を通じてより多くの方が運動や健康に関心を持ってもらうほか、市内外・県内外、老若男女を問わず参加できるよう大会ホームページ等を活用しながら広報に努める。 近年、鹿児島マラソンやこばやし霧島連山絶景マラソン大会等の開催に伴い、参加者がやや減少傾向にあるため、資金面において大会運営が、非常に厳しい状況になってきている。新たな参加者の確保や協賛企業の支援をいただけるよう努める。 また、2年間実施が見送られたことや、コロナ禍において参加者の減少や感染予防経費の増大等が懸念されるが、30回記念大会であることから、参加の呼び水となるような取組を行い、従来の参加者を呼び戻すとともに新たな参加者の獲得を図る。				
(3) 令和4年度の方向性 (具体的な取組)	新たな参加者の確保や協賛企業の支援をいただけるよう他自治体スポーツイベントと連携等の可能性について検討をする。 また、中長期的には、霧島市スポーツ協会、総合型地域スポーツクラブ等の参画を促し、民間のアイデアを取り入れつつ、より良いスポーツイベントとなることについても検討したい。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	職・氏名
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充	
	維持		
	縮小		
	休廃止（統合含む）		
		皆減	縮小 維持 拡大
コスト投入（予算）の方向性			
(2) 総評			

1. 基本情報						
事務事業番号	02449	事務事業名	スポーツ推進審議会運営事業	担当部	市民環境部	
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)		担当課長	上小園 拓也	
施策名	004	スポーツを楽しむ環境づくりの推進		グループ	スポーツ・文化G	
基本事業名	001	生涯スポーツの推進		内線番号	3962	
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	10	教育費		単年度繰返(開始年度 平成23年度 ~)	
	項	07	保健体育費		期間限定複数年度(~)	
	目	02	社会体育振興費	根拠法令・条例等	スポーツ基本法・霧島市スポーツ推進審議会条例	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市スポーツ振興計画	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>						
(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)						
市のスポーツの推進に関する事項について調査審議するため、スポーツ基本法第31条の規定に基づき、霧島市スポーツ推進審議会を設置している。審議会は霧島市教育委員会の諮問に応じて、スポーツの推進に関する次に掲げる事項について調査審議する。						
(1) 生涯スポーツの推進に関すること。						
(2) スポーツ行事の実施及び奨励に関すること。						
(3) スポーツ団体及び指導者の育成に関すること。						
(4) 前各号に掲げるもののほか、スポーツの推進に関すること。						
組織は、スポーツ関係団体、及び校種別代表、計10人の委員で組織している。						
活動指標 (事務事業の活動量)						
	単位	平成31年度 (実績)	令和 2年度 (見込)	令和 2年度 (実績)	令和 3年度 (見込)	令和 4年度 (見込)
ア	開催されたスポーツ審議会の回数	回	3	3	3	3
イ						
ウ						
(2) 事務事業の目的						
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (左記 対象の大きさを表す指標)	単位	平成31年度 (実績)	令和 2年度 (見込)	令和 2年度 (実績)	令和 3年度 (見込)
ア	スポーツ審議会委員	人	10	10	10	10
イ						
ウ						
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (左記 意図の達成度を表す指標)	単位	平成31年度 (実績)	令和 2年度 (目標)	令和 2年度 (実績)	令和 3年度 (目標)
ア	スポーツの推進に関する事項を審議する	件	0	2	1	2
イ						
ウ						
(3) 総合計画との関係						
基本事業の目的、取組方針 (総合計画より)						
誰もが、それぞれの関心や適正に応じて、生涯にわたりスポーツに親しむことができる環境づくりに取り組み、ライフステージ等に応じたスポーツ活動を推進します。						
また、地域住民により自主的・主体的に運営される総合型地域スポーツクラブの育成等、市民が主体的に参画できるスポーツ環境を整備するとともに、多様化するニーズや環境の変化に対応した、新たな視点によるスポーツ指導者やコーディネーター役を担うスポーツ推進委員の養成に努めます。さらに、第75回国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」、第20回全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」の開催に向け、市民と一体となり、気運の醸成に努め、霧島ならではの魅力溢れる大会を目指します。						

3. 前年度の評価表に記載した課題		4. 事業費の推移						
令和 2年度の改善改革の内容 (取り組むべき課題)		単位	31年度 決算	2年度 当初予算	2年度 決算	3年度 当初予算	4年度 計画	
令和2年度はスポーツ振興計画の最終年度であるため、第二次スポーツ振興計画(仮称)の計画内容を審議会で諮問する。また審議会で提言された内容を速やかに協議・検討し、スポーツ振興事業に反映できるように努める。		事業費投入量	国庫支出金	千円	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0
			一般財源	千円	0	121	114	120
		事業費	千円	0	121	114	120	

5. 令和 2年度の実績及び成果	
(1) 令和 2年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 令和 2年度の成果 <左記の実績 (取組) による成果を記載>
スポーツ審議会を3回開催した。 第1回: 7月 第2期霧島市スポーツ振興計画 策定スケジュール協議 第2回: 9月 第2期霧島市スポーツ振興計画 素案協議 第3回: 1月 第2期霧島市スポーツ振興計画 最終案協議	年間を通して「第2期霧島市スポーツ振興計画」の策定を進め、内容についての協議、検討、提言を行った。

事務事業 番号	02449	事務 事業名	スポーツ推進審議会運営事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公 平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		理由
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A スポーツ推進審議会は、スポーツ基本法及びスポーツ推進審議会条例によって設置されているものであり、縮小・廃止はできない。また事業費についても出席した委員の報酬及び費用弁償のみであり削減の余地はない。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>				
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の 事 業 向 性 (成 果)	拡 充				
		維 持			レ	
		縮 小				
		休廃止（統合含む）				
			皆 減	縮 小	維 持	拡 大
		コスト投入（予算）の方向性				
(2) 令和3年度の改革改善の内容（取り組むべき課題）	第2期スポーツ振興計画の目標達成に向け、進捗状況の確認を行うほか、スポーツに関する施策の提言や課題解決に向けた協議を行う。					
(3) 令和4年度の方向性（具体的な取組）	審議会への諮問内容等を整理し、他市の審議会運営についても参考にして活発な審議・進言ができるよう、運営を改善していきたい。					

8. 2次評価結果（担当部長評価）		評価者				職・氏名	
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の 事 業 向 性 (成 果)	拡 充					
		維 持					
		縮 小					
		休廃止（統合含む）					
			皆 減	縮 小	維 持	拡 大	
		コスト投入（予算）の方向性					
(2) 総評							

1. 基本情報						
事務事業番号	02450	事務事業名	学校体育施設開放事業	担当部	市民環境部	
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)		担当課	スポーツ・文化振興課	
施策名	004	スポーツを楽しむ環境づくりの推進		グループ	施設管理グループ	
基本事業名	001	生涯スポーツの推進		内線番号	3962	
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	10	教育費		単年度繰返(開始年度 昭和40年度 ~)	
	項	07	保健体育費		期間限定複数年度(~)	
	目	02 社会体育振興費		根拠法令・条例等	スポーツ基本法・霧島市立学校施設使用条例	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市スポーツ振興計画	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

市民のスポーツ・レクリエーション活動及び体力づくりの場として学校体育施設を学校教育に支障がない範囲で開放する。開放する対象施設は、霧島市内の全ての小・中学校体育施設とし、霧島市内に居住する市民の団体であれば、登録することにより定期的に借りることができる。小学校(屋内34箇所・屋外35箇所)、中学校(屋内13箇所・屋外12箇所)
 【使用料】一般: 体育館220円、武道館220円、グラウンド850円 児童生徒: 体育館110円、武道館110円、グラウンド430円
 利用日誌の管理は管理指導員が行い、スポーツ・文化振興課へ報告。集計表をもとに市が納付書を発行し入金確認を行う。

活動指標 (事務事業の活動量)		単位	平成31年度 (実績)	令和 2年度 (見込)	令和 3年度 (見込)	令和 4年度 (見込)
ア	開放した学校の体育施設の数(小学校(体育館・グラウンド)・中学校(体育館・グラウンド・武道館))	施設	73	94	67	94
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (左記 対象の大きさを表す指標)	単位	平成31年度 (実績)	令和 2年度 (見込)	令和 3年度 (見込)	令和 4年度 (見込)
ア	市民	人口	124,367	124,181	124,882	123,908
イ						
ウ						
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (左記 意図の達成度を表す指標)	単位	平成31年度 (実績)	令和 2年度 (目標)	令和 3年度 (目標)	令和 4年度 (目標)
ア	スポーツ活動ができる	延人	170,547	180,000	170,271	180,000
イ	スポーツ活動ができる	団体	254	260	239	260
ウ						

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より)
 誰もが、それぞれの関心や適正に応じて、生涯にわたりスポーツに親しむことができる環境づくりに取り組み、ライフステージ等に応じたスポーツ活動を推進します。
 また、地域住民により自主的・主体的に運営される総合型地域スポーツクラブの育成等、市民が主体的に参画できるスポーツ環境を整備するとともに、多様化するニーズや環境の変化に対応した、新たな視点によるスポーツ指導者やコーディネーター役を担うスポーツ推進委員の養成に努めます。さらに、第75回国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」、第20回全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」の開催に向け、市民と一体となり、気運の醸成に努め、霧島ならではの魅力溢れる大会を目指します。

3. 前年度の評価表に記載した課題

令和 2年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)
 ・事務の煩雑さによる入力誤り等の発生リスクが高いため、事務の効率化ができないか検討する。
 ・現在、利用の翌月に使用料の請求業務を行っているが、入金が遅滞している団体も数見られる。未納が発生しないように、請求事務のあり方も見直せる部分がないか検討する。

4. 事業費の推移		単位	31年度 決算	2年度 当初予算	2年度 決算	3年度 当初予算	4年度 計画
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	2,045	2,318	1,779	2,002	2,002
	一般財源	千円	136	177	247	379	379
事業費		千円	2,181	2,495	2,026	2,381	2,381

5. 令和 2年度の実績及び成果

(1) 令和 2年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 令和 2年度の実績(取組)による成果を記載>
<ul style="list-style-type: none"> ・利用団体延数: 239団体 ・利用延人数170,271人 ・利用団体の登録教務、使用料納付書の請求業務、集計業務、管理指導員への報酬支払い業務を行った。 	市民スポーツの推進、コミュニティ活動の促進が図られた。また、学校体育施設を開放し、活用することにより地域住民の親睦とコミュニティスポーツの普及と健康増進、生涯スポーツの振興に成果を上げることができた。また本事業で事故等の発生もなく、安全に体育施設を開放することができた。

事務事業 番号	02450	事務 事業名	学校体育施設開放事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振り返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		総合評価
A:継続して取り組むことが妥当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A
		理由 本事業を縮小等した場合、多くの市民のスポーツ活動の場がなくなり、学校・家庭・地域社会がそれぞれの機能を十分に発揮できなくなるため、継続して取り組むことが妥当である。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充			
	維 持			レ	
	縮 小				
	休廃止（統合含む）				
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
コスト投入（予算）の方向性					
(2) 令和 3年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	・実績報告の入力誤り等の発生リスクが高いため、事務の効率化ができないか検討する。 ・現在、利用の翌月以降に使用料の請求事務を行っているが、入金が遅滞している団体も散見される。未納団体へは督促状を送付し、支払いを促す。				
(3) 令和 4年度の方向性 (具体的な取組)	各学校運営協議会の管理指導員（教頭等）と連携し、効率的・簡素な事務運営を目指す。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者				職・氏名	
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充					
	維 持						
	縮 小						
	休廃止（統合含む）						
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大		
コスト投入（予算）の方向性							
(2) 総評							

1. 基本情報						
事務事業番号	02451	事務事業名	スポーツ少年団育成事業	担当部	市民環境部	
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)		担当課	スポーツ・文化振興課	
施策名	004	スポーツを楽しむ環境づくりの推進		グループ	スポーツ・文化G	
基本事業名	001	生涯スポーツの推進		内線番号	3982	
予算科目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	10	教育費		単年度繰返(開始年度 昭和40年度 ~)	
	項	07	保健体育費		期間限定複数年度(~)	
	目	02	社会体育振興費		根拠法令・条例等 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	スポーツ振興計画	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

- ・目的・・・スポーツを通して青少年の健全な心身を鍛錬するために結成された単位スポーツ少年団の育成指導及び連絡調整を図る。
- ・内容・・・団、団員、指導者の登録業務、育成費の支給、少年団各種大会の助成、県及び地区交歓大会・募金活動等への団派遣、市内競技別大会の実施
- ・各単位スポーツ少年団登録事務・・・登録料は団員1人700円(日本球[※]少300円・県球[※]少300円・市球[※]少100円)、単位団1団(市球[※]少1,000円)。
- ・団登録受付期間は6月30日まで、追加登録受付期間は8月7日まで。
- ・各単位スポーツ少年団育成費支給事務・・・団員1人300円、1団12,000円の積算で支給
- ・霧島市スポーツ少年団主催事業の実施・・・霧島市スポーツ少年団フェスティバル(競技別大会)の実施等
- ・スポーツ少年団活動領域にかかる各事業への協力・・・県競技別交歓大会・地区交歓大会・歳末たすけあい募金活動・体力テスト等への参加

活動指標 (事務事業の活動量)	単位	平成31年度 (実績)	令和 2年度 (見込)	令和 3年度 (見込)	令和 4年度 (見込)
ア 指導育成研修会・交歓大会・フェスティバル数	回	5	12	11	12
イ 競技種目数	種目	9	12	10	12
ウ					

(2) 事務事業の目的

対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (左記 対象の大きさを表す指標)	単位	平成31年度 (実績)	令和 2年度 (見込)	令和 3年度 (見込)	令和 4年度 (見込)
ア 霧島市スポーツ少年団員	登録団員数	人	1,068	1,100	966	1,000
イ 霧島市スポーツ少年団単位団	単位団数	団	61	60	59	60
ウ						
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (左記 意図の達成度を表す指標)	単位	平成31年度 (実績)	令和 2年度 (目標)	令和 3年度 (目標)	令和 4年度 (目標)
ア 基礎体力が向上する	基礎体力が向上した団員数(体力テスト1級/テスト参加者)	%	6.90	15	0	15
イ 奉仕活動等へ参加できる	奉仕活動をした団員数	人	276	345	0	345
ウ						

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より)

誰もが、それぞれの関心や適正に応じて、生涯にわたりスポーツに親しむことができる環境づくりに取り組み、ライフステージ等に応じたスポーツ活動を推進します。

また、地域住民により自主的・主体的に運営される総合型地域スポーツクラブの育成等、市民が主体的に参画できるスポーツ環境を整備するとともに、多様化するニーズや環境の変化に対応した、新たな視点によるスポーツ指導者やコーディネーター役を担うスポーツ推進委員の養成に努めます。さらに、第75回国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」、第20回全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」の開催に向け、市民と一体となり、気運の醸成に努め、霧島ならではの魅力溢れる大会を目指します。

3. 前年度の評価表に記載した課題

令和 2年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)

- ・スポーツ少年団活動については、青少年育成の場であり、勝利至上主義や行き過ぎた指導がないよう、指導者研修会の開催や県が行う講習会へ積極的に参加を促していく必要がある。また活動回数や1日の活動時間を守るよう指導する。
- ・毎年4月29日に実施している「スポーツ少年団結団式」について、近年の参加率の低下を鑑み、令和2年度は実施を見合わせた。参加率の向上が見込める開催内容の検討を行い、今後開催の要否の検討を行う。
- ・令和2年度から、指導者に関する制度改定等がなされたため、各団への周知を徹底する。
- ・近年、団員数が減少傾向にあるため、チラシを作成し各小中学校に配布する等、団員数の増加に努める。

4. 事業費の推移

事業費	単位	31年度	2年度		3年度	4年度
		決算	当初予算	決算	当初予算	計画
投入量	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	1,500	1,305	1,113	1,305
事業費	千円	1,500	1,305	1,113	1,305	1,305

5. 令和 2年度の実績及び成果

(1) 令和 2年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 令和 2年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
令和 2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の為、総会は書面決議、競技別交歓大会は軟式野球、ミニバスケットボール、水泳、空手道、ソフトボール、バドミントン競技の中止、指導者研修会、スタートコーチ養成講習会等のイベントが中止となった。 令和 2年度は登録団数が59団、団員数966、指導者166名、役員・スタッフ78名。新規団数1団、廃団数2団。	令和 2年度から指導者制度改正と新システム導入があったが、全国の登録を登録期間内に終えることができた。 コロナ禍ではあるが、スポーツ少年団フェスティバルは、感染症対策を徹底し、安心安全に実施することができた。

事務事業 番号	02451	事務 事業名	スポーツ少年団育成事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振り返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		総合評価
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A
		理由 本事業は、スポーツを通じた児童生徒の健全育成を図るものであり、事業規模の縮小は、家庭や各学校に重大な影響を与えることとなるため、継続が妥当である。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充			
		維持			レ
		縮小			
		休廃止（統合含む）			
			皆減	縮小	維持
					拡大
コスト投入（予算）の方向性					
(2) 令和3年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの感染対策を徹底した上で活動を行うよう周知を行う。 ・毎年4月29日（昭和の日）に実施している「スポーツ少年団結団式」について、参加率の向上が見込める開催内容の検討を行い、今後開催の要否の検討を行う。 ・令和2年度から指導者に関する制度等が改定されたため、各団への周知を徹底する。 ・スポーツ少年団活動はスポーツを通して青少年の「人間づくり」と「体力づくり」に大きく寄与しており、指導者の役割が大変重要であるが、スポーツ少年団のあるべき姿を正しく理解していただけない団もあり、更なる研修が必要である。 				
(3) 令和4年度の方向性 (具体的な取組)	<ul style="list-style-type: none"> ・「スポーツ少年団結団式」のあり方の検討を行う。 				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者				職・氏名	
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充					
		維持					
		縮小					
		休廃止（統合含む）					
			皆減	縮小	維持		拡大
							コスト投入（予算）の方向性
(2) 総評							

1. 基本情報						
事務事業番号	02452	事務事業名	スポーツ推進委員活動事業	担当部	市民環境部	
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)		担当課	スポーツ・文化振興課	
施策名	004	スポーツを楽しむ環境づくりの推進		グループ	スポーツ・文化G	
基本事業名	001	生涯スポーツの推進		内線番号	3982	
予算科目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	10	教育費		単年度繰返(開始年度 昭和36年度 ~)	
	項	07	保健体育費		期間限定複数年度(~)	
目	02	社会体育振興費		根拠法令・条例等	スポーツ基本法・霧島市スポーツ推進委員に関する規則・霧島市非常	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市スポーツ振興計画	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)
 市内各地区から推薦を受けた者を市がスポーツ推進委員として任命し、スポーツ行事等への協力及び住民スポーツの振興のため指導・助言を行う。
 ・各地区のスポーツ推進委員(国分26人、溝辺12人、横川7人、牧園10人、霧島7人、隼人20人、福山8人)計90人
 ・スポーツ推進委員の指導・協力を得て開催・主催した大会等
 ・ニュースポーツ指導(全地区)、県地区対抗女子駅伝競走大会(全地区)、県下一周駅伝大会(溝辺、霧島を除く全地区)等
 職員は各地区の担当者が事務局として関与。市民のスポーツに関する連絡調整、スポーツイベントの企画運営役を下支えしている。スポーツ推進委員の活動後、報酬・費用弁償の支払い事務を行う。

活動指標(事務事業の活動量)	単位	平成31年度(実績)	令和2年度(見込)	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)	令和4年度(見込)
ア スポーツ推進委員開催行事	回	9	10	0	10	10
イ 会議の回数	回	40	50	37	45	45
ウ 指導回数	回	32	35	7	35	35

(2) 事務事業の目的

対象(誰、何を対象にしているのか)	対象指標(左記対象の大きさを表す指標)	単位	平成31年度(実績)	令和2年度(見込)	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)	令和4年度(見込)
ア スポーツ推進委員	スポーツ推進委員の数(各地区より)	人	90	91	90	91	91
イ 市民	人口	人	124,367	124,181	124,882	123,908	123,639

意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(左記意図の達成度を表す指標)	単位	平成31年度(実績)	令和2年度(目標)	令和2年度(実績)	令和3年度(目標)	令和4年度(目標)
ア スポーツ推進委員の指導力が向上する	出前講座(ニュースポーツ講座)派遣回数	回	32	35	7	35	35
イ 市民のスポーツへの関心が高まる	スポーツを行う環境が整っていると考える市民の割合(%)を令和2年度実績から、出前講座参加人数に変更	人	39.90	56	317	320	330

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より)
 誰もが、それぞれの関心や適正に応じて、生涯にわたりスポーツに親しむことができる環境づくりに取り組み、ライフステージ等に応じたスポーツ活動を推進します。
 また、地域住民により自主的・主体的に運営される総合型地域スポーツクラブの育成等、市民が主体的に参画できるスポーツ環境を整備するとともに、多様化するニーズや環境の変化に対応した、新たな視点によるスポーツ指導者やコーディネーター役を担うスポーツ推進委員の養成に努めます。さらに、第75回国民体育大会「燃ゆる感動がこしま国体」、第20回全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動がこしま大会」の開催に向け、市民と一体となり、気運の醸成に努め、霧島ならではの魅力溢れる大会を目指します。

3. 前年度の評価表に記載した課題

令和2年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)
 霧島市スポーツ推進委員協議会内に設置している各部会を中心に、スポーツ推進委員の資質向上を図り、市民のニーズに答え、スポーツを行う環境づくりやスポーツを通じた地域づくりに参画できるように、独自の研修会開催や地域のスポーツ振興事業等を主体的に参画・実施する。

4. 事業費の推移		単位	31年度決算	2年度当初予算	2年度決算	3年度当初予算	4年度計画
事業費投入量	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	6,399	8,387	3,219	8,393
事業費		千円	6,399	8,387	3,219	8,393	8,393

5. 令和2年度の実績及び成果

(1) 令和2年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 令和2年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<ul style="list-style-type: none"> 協議会組織内の部会(総務・研修・女性部会)を中心に自主的かつ積極的な活動が行われた。 ニュースポーツやアイスブレイキングの実技研修を計画したが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした。 県地区対抗女性駅伝、県下一周駅伝において、大会運営・補助業務にあたった。 7回の出前講座(小学校、家庭教育学級、地区子ども会等へニュースポーツの実技指導等)を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 地区単位で実施するスポーツイベントにおいて、企画・運営・指導・連絡調整の業務に従事し、市民へのスポーツ普及推進を図った。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から多数中止となった。 研修部会を中心に独自で研修会を計画したことで、これまでの地区、県、九州地区での研修会だけでなく、より実状に近い内容の研修会実施が見込めるようになった。 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から回数は減少したが、出前講座を行ったことにより、親子のふれあい、地域のコミュニケーションづくり、スポーツへの興味・関心の高揚等が図られた。

事務事業 番号	02452	事務 事業名	スポーツ推進委員活動事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振り返り <SEE (check) >

A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	

総合評価判定基準	総合評価	理由
A: 継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B: 事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C: 事業の統合、休・廃止の検討	A	自治体は、スポーツ基本法により非常勤公務員であるスポーツ推進委員を置くことが定められており、スポーツ推進委員活動の費用についても主に報酬と費用弁償となっており、これ以上の削減は見込めない。市民のスポーツへの関心を高め、スポーツを行う環境づくりをよりよいものにするためにも、今後も自己研鑽に努め、スポーツ推進委員の資質向上に繋がる活動が必要となる。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)

		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>				
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充				
		維 持			レ	
		縮 小				
		休廃止（統合含む）				
			皆 減	縮 小	維 持	拡 大
		コスト投入（予算）の方向性				
(2) 令和 3年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	霧島市スポーツ推進委員協議会内に設置している各部会を中心に、コロナ禍であることに配慮しながら、スポーツ推進委員の資質向上を図り、市民のニーズに応え、スポーツを行う環境づくりやスポーツを通じた地域づくりに寄与できるよう、独自の研修会開催や地域のスポーツ振興事業等を主体的に参画・実施する。					
(3) 令和 4年度の方向性 (具体的な取組)	スポーツ推進委員の資質向上に努めるとともに、総合型地域スポーツクラブとの連携を深めることで、より一層生涯スポーツの振興を図る。					

8. 2次評価結果 (担当部長評価)

						評価者	職・氏名	
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充						
		維 持						
		縮 小						
		休廃止（統合含む）						
			皆 減	縮 小	維 持	拡 大		
		コスト投入（予算）の方向性						
(2) 総評								

1. 基本情報							
事務事業番号	02453	事務事業名	県下一周市郡対抗駅伝大会支援事業		担当部	市民環境部	
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)			担当課	スポーツ・文化振興課	
施策名	004	スポーツを楽しむ環境づくりの推進			グループ	スポーツ・文化グループ	
基本事業名	002	競技スポーツの推進			内線番号	3982	
予算科目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ		
	款	10	教育費		単年度繰返(開始年度	昭和29年度	~)
	項	07	保健体育費		期間限定複数年度(~)	
	目	02	社会体育振興費	根拠法令・条例等	スポーツ基本法		
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価		関連計画	霧島市スポーツ振興計画	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)
 昭和29年奄美の日本復帰などを記念してスタートした大会で、平成30年度66回大会で、前回大会と一部区間(霧島市内)のコース変更がありました。1日目11区間128.9km、2日目10区間112.8km、3日目11区間122.3km、4日目10区間106.4km、5日目11区間113.4km合計5日間53区間583.8kmでタスキをリレーする。霧島市は、第3日目中継所2箇所(横川・牧園)、ゴール1箇所(隼人)、第4日目スタート1箇所(国分)、中継1箇所(福山)、第5日目中継2ヶ所(福山・国分)があり、中継所接待及び走路の交通誘導等を行い、選手が安全に競技できるよう大会を支援する。
 ・南日本新聞社主催の、県内男子では最大規模の駅伝大会である。
 ・本事業を開催するに当たり、中継所、ゴール、スタートの会場設営、駐車場の確保、雑踏整理を行っている。また、交差点の歩行者誘導、雑踏警備、選手の安全走行の管理に従事している。歓迎催事の太鼓、吹奏楽の手配も例年実施しているが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、実施しなかった。

活動指標(事務事業の活動量)	単位	平成31年度(実績)	令和2年度(見込)	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)	令和4年度(見込)
ア 自主交通整理員・誘導員数(スポーツ推進員、交通安全協会、市職員)	人	185	185	183	185	185
イ 中継所・スタート・ゴール箇所(横川、牧園、隼人、国分、福山)	箇所	7	7	7	7	7
ウ						

(2) 事務事業の目的

対象(誰、何を対象にしているのか)	対象指標(左記対象の大きさを表す指標)	単位	平成31年度(実績)	令和2年度(見込)	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)	令和4年度(見込)
ア 県下一周市郡対抗駅伝出場者	駅伝大会出場者数(霧島市内走者)	人	96	96	96	96	96
イ 観戦者	人口	人	124,367	124,181	124,882	123,908	123,639
ウ							

意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(左記意図の達成度を表す指標)	単位	平成31年度(実績)	令和2年度(目標)	令和2年度(実績)	令和3年度(目標)	令和4年度(目標)
ア 安全で快適に走れる	怪我や事故をした選手数	人	0	0	0	0	0
イ 安全に応援できる	安全に応援できた個所数	箇所	84	84	84	84	84
ウ							

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より)
 年間を通して温暖な気候で全国有数の観光地でもある本市の特性を生かし、国内外を問わず、各種スポーツ団体のキャンプ等や各種大会を招致することにより、市の活性化や観光客の誘致によるスポーツ交流人口の拡大に努めます。
 また、トップアスリート選手によるスポーツ教室の開催など、各競技の底辺拡大や競技スポーツの向上に繋がる施策を展開します。
 さらに、「かごしま国体・かごしま大会」の開催を通して、市民の競技力向上や生涯にわたりスポーツ活動を継続できる環境づくりを目指します。

3. 前年度の評価表に記載した課題		4. 事業費の推移					
令和2年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)		単位	31年度決算	2年度当初予算	2年度決算	3年度当初予算	4年度計画
本大会は、令和元年度で67回を数える歴史ある大会であり、市民のみならず、市民にも広く認知されている。事業の実施にあたっては、公道を必要とするため、事故を防止し、必要となる人員の配置、警備や主催者など関係各所を連携し、責任をもつ必要がある。また、スタート・ゴール・中継所地点は特に観戦者も多いため、近隣住民の理解と協力が得られるよう努める。		事業費	千円	0	0	0	0
		財源内訳	千円	0	0	0	0
		国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	55	60	0	93
		事業費	千円	55	60	0	93

5. 令和2年度の実績及び成果

(1) 令和2年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 令和2年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
選手が安全で快適に競技できる環境作りのために、第3日目中継所2箇所ゴール1箇所、第4日目スタート1箇所、中継1箇所、第5日目中継2ヶ所を、スポーツ推進委員のべ76名、職員等のべ107名で、中継所設置、ゴール設置、スタート設置等の環境の整備を行った。	事前に広報誌等で駅伝大会の実施について市民に周知した。また、ゴール周辺の地域住民に配慮し、安全かつトラブル防止のため警備員として職員を配置した結果、選手、運営従事者、観客等に事故等は生じず大きな混乱は見られなかった。

事務事業 番号	02453	事務 事業名	県下一周市郡対抗駅伝大会支援事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振り返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありますか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		理由
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		<p style="text-align: center;">A</p> <p>全県をあげての大会であり、本市の判断で廃止・縮小等することは大会運営に重大な影響を及ぼすため、継続して取り組むことが適当である。</p>

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充			
		維 持		レ	
		縮 小			
		休廃止（統合含む）			
			皆 減	縮 小	維 持
			コスト投入（予算）の方向性		
(2) 令和3年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	本大会は、令和3年度で69回を数える歴史ある大会であり、市民のみならず県民にも広く認知されている。事業の実施にあたっては、公道を使用するため、事故を起こさないコース環境づくりと、必要な人員の配置、警察や主催者など関係各所を連携を図り、責任をもって市が関与しなければならず、今後も最善の注意をもって取り組む必要がある。またスタート・ゴール・中継所地点は特に観戦者も多いため、近隣住民の理解と協力が得られるよう努める。				
(3) 令和4年度の方向性 (具体的な取組)	本市が担当する中継所・スタート・ゴールの場所について、道路事情や声援を送る市民の状況を精査しながら主催者と連携・調整して最善のコースとなるよう努める。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者				職・氏名	
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充					
		維 持					
		縮 小					
		休廃止（統合含む）					
			皆 減	縮 小	維 持	拡 大	
			コスト投入（予算）の方向性				
(2) 総評							

1. 基本情報						
事務事業番号	02454	事務事業名	県地区対抗女子駅伝競走大会支援事業		担当部	市民環境部
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)			担当課長	上小園 拓也
施策名	004	スポーツを楽しむ環境づくりの推進			グループ	スポーツ・文化G
基本事業名	002	競技スポーツの推進			内線番号	3982
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	10	教育費		単年度繰返(開始年度 昭和63年度 ~)	
	項	07	保健体育費		期間限定複数年度(~)	
	目	02 社会体育振興費		根拠法令・条例等	特になし	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価		関連計画	特になし

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)
 本イベントはMBCが主催する。鹿児島県内の12地域より女子駅伝選手を選抜し、毎年1月の最終日曜日に開催される県内ではトップクラスの女子駅伝大会。6区間21.095kmの区間で競争し、各選手のレベルアップを図ることを目的とする大会に対し補助金を交付し、大会を後援する事業。
 ・参加チーム(鹿児島地区・揖宿地区・川辺地区・日置地区・川薩地区・出水地区・伊佐地区・始良地区・曾於地区・肝属地区・熊毛地区・大島地区)計12チーム
 ・コース 霧島市準人運動場をスタート 鹿児島神宮前交差点 鹿児島神宮入口交差点 木之房交差点 ホテル京セラ前交差点 河川敷 野口橋交差点 下井 野口橋交差点 ホテル京セラ前交差点 鹿児島神宮入口 鹿児島神宮前交差点 霧島市準人運動場
 ・本事業を開催するに当たり、開閉会式の会場設営。グラウンドの整備、整地。防霜対策としての塩化カリウムの散布、及び200mトラックを整備している。また、走者沿道ののぼり旗の設置と撤収。交差点の歩行者誘導、雑踏警備、選手の安全走行の管理に従事している。

活動指標(事務事業の活動量)	単位	平成31年度(実績)	令和2年度(見込)	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)	令和4年度(見込)
ア 交通指導員設置人数(スポーツ推進員、交通安全協会、市職員)	人	71	64	74	71	71
イ 中継箇所	箇所	6	6	6	6	6
ウ コース美化距離(自治会等によるボランティア)	km	5	5	5	5	5

(2) 事務事業の目的

対象(誰、何を対象にしているのか)	対象指標(左記対象の大きさを表す指標)	単位	平成31年度(実績)	令和2年度(見込)	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)	令和4年度(見込)
ア 地区対抗女子駅伝大会出場者	駅伝大会出場者数	人	192	192	192	192	192
イ 観戦者	人口	人	124,367	124,181	124,882	123,908	123,639
ウ							

意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(左記意図の達成度を表す指標)	単位	平成31年度(実績)	令和2年度(目標)	令和2年度(実績)	令和3年度(目標)	令和4年度(目標)
ア 安全で快適に走れる	怪我や事故をした選手数	人	0	0	0	0	0
イ 安全に応援できる	安全に応援できた箇所数	箇所	70	70	70	70	70
ウ							

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より)
 年間を通して温暖な気候で全国有数の観光地でもある本市の特性を生かし、国内外を問わず、各種スポーツ団体のキャンプ等や各種大会を招致することにより、市の活性化や観光客の誘致によるスポーツ交流人口の拡大に努めます。
 また、トップアスリート選手によるスポーツ教室の開催など、各競技の底辺拡大や競技スポーツの向上に繋がる施策を展開します。
 さらに、「かごしま国体・かごしま大会」の開催を通して、市民の競技力向上や生涯にわたりスポーツ活動を継続できる環境づくりを目指します。

3. 前年度の評価表に記載した課題
令和2年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)
 この大会は、全国で活躍する実業団や高校の選手が参加する大会で、このような選手が走る姿を身近に肌で感じる機会を作ることができるのは、開催市であるからに他ならない。今後も市民により一層親しまれる大会にするために大会PRなど積極的に行っていきたい。
 また、地区対抗女子駅伝大会は公道を利用するため、道路事情の変化に伴う立明箇所の再点検や交通整理員の適正人員について、関係機関と常に協議・検討する必要がある。

4. 事業費の推移		単位	31年度決算	2年度当初予算	2年度決算	3年度当初予算	4年度計画
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	2,788	2,773	2,770	2,819
事業費		千円	2,788	2,773	2,770	2,819	2,763

5. 令和2年度の実績及び成果

(1) 令和2年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>
 職員延べ58名(事前準備38名+大会当日20名)、スポーツ推進委員44名、交通安全協会21名を動員し、選手が安全で快適に走れるコースづくりとともに、市民が安心して応援できる環境を整備した。また、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、安心安全に開催することができた。

(2) 令和2年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
 鹿児島県内最高レベルの女子駅伝大会であり、選手が安全で快適に走れることや市民が安心して応援できる環境を整備することにより、女子長距離界の選手の育成・強化と市民の「観るスポーツ」のレベルアップが図られた。毎年霧島市で開催されることにより、経済効果はもちろん、本市の魅力度向上が図られ、県内に発信することができた。

事務事業 番号	02454	事務 事業名	県地区対抗女子駅伝競走大会支援事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振り返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有 効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効 率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公 平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	

総合評価判定基準	総合評価	理由
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討	A	この県内トップレベルの大会が安全に開催され、市民が安心した応援できることは、市民スポーツ活動を充実させることに繋がる。そのためコースの整備や中継所の設置・運営、応援者の安全確保のための警備や交通誘導は、市が取り組むべき事項である。現在、必要な交通警備員やボランティア員を必要数確保し、効率的かつ効果的に配置しており、これ以上の人員削減や業務時間の削減は、安全な大会運営に支障をきたす。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の 事 業 向 性 (成 果)	拡 充			
	維 持			レ	
	縮 小				
	休廃止（統合含む）				
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
コスト投入（予算）の方向性					
(2) 令和3年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	この大会は、全国で活躍する実業団や高校の選手が参加する大会で、このような選手が走る姿を身近に肌で感じる機会を作ることができるのは、開催市であるからに他ならない。今後も市民により一層親しまれる大会にするために大会PRなど積極的に行っていききたい。 また、地区対抗女子駅伝大会は公道を利用するため、道路事情の変化に伴う立哨箇所 の再点検や交通整理員の適正人員について、関係機関と常に協議・検討する必要がある。 新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、安心安全な大会運営を行う。				
(3) 令和4年度の方向性 (具体的な取組)	安全面に配慮し、効率的かつ効果的な人員配置や業務スケジュールを引き続き検討し、関係機関との連携をより一層図っていききたい。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	職・氏名
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の 事 業 向 性 (成 果)	拡 充	
	維 持		
	縮 小		
	休廃止（統合含む）		
		皆 減	縮 小 維 持 拡 大
コスト投入（予算）の方向性			
(2) 総評			

1. 基本情報						
事務事業番号	02455	事務事業名	各種スポーツ大会出場者支援事業	担当部	市民環境部	
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)		担当課	スポーツ・文化振興課	
施策名	004	スポーツを楽しむ環境づくりの推進		グループ	スポーツ・文化G	
基本事業名	002	競技スポーツの推進		内線番号	3982	
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	10	教育費		単年度繰返(開始年度 昭和30年度 ~)	
	項	07	保健体育費		期間限定複数年度(~)	
	目	02 社会体育振興費		根拠法令・条等	霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市スポーツ振興計画	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

各種体育大会の予選を勝ち抜き九州及び全国大会への出場が決定しているもの、各種体育大会の県選抜の一員として、又は、各種体育団体の代表者からの推薦を受け九州及び全国大会への出場が決定しているものに補助金を交付する。

〔補助金の交付対象〕

市内の小・中学校の児童・生徒及び団体((財)日本中学校体育連盟加盟校の部活動を除く。)

市内に居住する高等学校の生徒、社会人及びその団体((財)全国高等学校体育連盟加盟校、(財)日本高等学校野球連盟加盟校は除く。)

〔補助金の額〕九州大会：予選大会の結果が準優勝以上の場合 団体上限(小中学生)200,000円 (小中学生以外)30,000円 個人5,000円、左記以外 団体10,000円 個人3,000円
全国大会：予選大会の結果が準優勝以上の場合 団体上限(小中学生)200,000円 (小中学生以外)50,000円 個人10,000円、左記以外 団体25,000円 個人6,000円

活動指標 (事務事業の活動量)	単位	平成31年度 (実績)	令和 2年度 (見込)	令和 3年度 (見込)	令和 4年度 (見込)
ア 補助を行った件数	件	71	135	21	135
イ					
ウ					

(2) 事務事業の目的

対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (左記 対象の大きさを表す指標)	単位	平成31年度 (実績)	令和 2年度 (見込)	令和 3年度 (見込)	令和 4年度 (見込)
ア 市民	人口	人	124,367	124,181	124,882	123,908
イ						
ウ						

意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (左記 意図の達成度を表す指標)	単位	平成31年度 (実績)	令和 2年度 (目標)	令和 3年度 (目標)	令和 4年度 (目標)
ア 出場経費の個人負担が軽減される	全国・九州大会出場者延べ人数	人	330	650	149	650
イ						
ウ						

意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (左記 意図の達成度を表す指標)	単位	平成31年度 (実績)	令和 2年度 (目標)	令和 3年度 (目標)	令和 4年度 (目標)
ア 出場経費の個人負担が軽減される	全国・九州大会出場者延べ人数	人	330	650	149	650
イ						
ウ						

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より)

年間を通して温暖な気候で全国有数の観光地でもある本市の特性を生かし、国内外を問わず、各種スポーツ団体のキャンプ等や各種大会を招致することにより、市の活性化や観光客の誘致によるスポーツ交流人口の拡大に努めます。

また、トップアスリート選手によるスポーツ教室の開催など、各競技の底辺拡大や競技スポーツの向上に繋がる施策を展開します。

さらに、「かごしま国体・かごしま大会」の開催を通して、市民の競技力向上や生涯にわたりスポーツ活動を継続できる環境づくりを目指します。

3. 前年度の評価表に記載した課題

令和 2年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)

令和 2年度から小・中学生の補助金上限額の増額及び新たにスポーツ少年団対象として加えるなど当該制度の改正について、広報誌の掲載やスポーツ少年団等の関係団体への周知に努める。

4. 事業費の推移

事業費	単位	31年度	2年度		3年度	4年度
		決算	当初予算	決算	当初予算	計画
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
県支出金	千円	0	0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	3,200	800	3,200	0
一般財源	千円	1,091	89	10	89	3,289
事業費	千円	1,091	3,289	810	3,289	3,289

5. 令和 2年度の実績及び成果

(1) 令和 2年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>

【令和 2年度実績】
大会別の交付件数
九州大会：13件、準全国大会：0件、全国大会：8件 計21件
個人・団体別の交付件数及び交付額
個人：10件 88,000円
団体：11件 722,000円
計 810,000円

(2) 令和 2年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

全国大会、九州大会に出場した個人・団体に補助金を交付。市からの補助金を交付することで参加者の励みになり、霧島市のスポーツ振興が図られた。
令和 2年度の交付実績は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から多数の大会が中止となり、昨年度と比較して、件数で約29.6%、交付額で約74.2%といずれも減少した。

事務事業 番号	02455	事務 事業名	各種スポーツ大会出場者支援事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振り返り <SEE (check) >

A 目的 妥当性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	

総合評価判定基準	総合評価	理由
A: 継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B: 事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C: 事業の統合、休・廃止の検討	A	全国、九州大会出場者の経費負担が軽減されることから、スポーツ活動の活性化に結びついている。市民が鹿児島県を代表して参加することは、青少年をはじめ多くの市民に夢や感動を与える。また、活力ある地域づくりを進めていくうえで、大きな意義があることから市が行う必要がある。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)

		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の 事 業 向 成 果 性 (成 果)	拡 充			
		維 持			レ
		縮 小			
		休廃止（統合含む）			
			皆 減	縮 小	維 持
			コスト投入（予算）の方向性		
(2) 令和3年度の改革改善の内容（取り組むべき課題）	小・中学生の補助金上限額の増額及び新たにスポーツ少年団対象として加えるなど、令和2年度に当該制度を改正したため、広報誌やホームページに掲載するなど周知に努める。				
(3) 令和4年度の方向性（具体的な取組）	中・長期的なスポーツ振興、競技力の向上等には、青少年育成が重要であり、また、青少年が家庭の経済的差により全国大会等出場の障害とならないようより手厚い支援が必要であることから、青少年世代に当該制度を知っていただけるようホームページ、市報掲載、スポーツ競技関係団体等への周知、総会等の会合での周知を行う。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)

						評価者	職・氏名	
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の 事 業 向 成 果 性 (成 果)	拡 充						
		維 持						
		縮 小						
		休廃止（統合含む）						
			皆 減	縮 小	維 持	拡 大		
			コスト投入（予算）の方向性					
(2) 総評								

1. 基本情報							
事務事業番号	02456	事務事業名	市体育協会運営支援事業		担当部 担当課	市民環境部 スポーツ・文化振興課	
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)			担当課長	上小園 拓也	
施策名	004	スポーツを楽しむ環境づくりの推進			グループ	スポーツ・文化G	
基本事業名	002	競技スポーツの推進			内線番号	3982	
予算科目目	会計	一般会計				事業期間	単年度のみ 単年度繰返(開始年度 昭和40年度 ~) 期間限定複数年度(~)
	款	10	教育費				
	項	07	保健体育費				
	目	02	社会体育振興費			根拠法令・条等	霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価		関連計画	霧島市スポーツ振興計画	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>						
(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)						
平成18年6月23日、旧1市6町の体育協会を一つに統合するための総会が開催され、霧島市体育協会が発足。本事業は、市スポーツ協会(平成30年度名称変更)への補助事業であり、協会が各種競技団体を統括し、一体となった活動を行うことで、競技力の向上と市民へのスポーツ意識の高揚を図ることを目的としている。事務書記1名。 ・加盟団体数・会員数 35団体約8,000人 ・種目:陸上・水泳・サッカー・バレーボール・バスケットボール・ソフトテニス・卓球・軟式野球・相撲・柔道・バドミントン・弓道・ソフトボール・剣道・銃剣道・ハンドボール・クレー射撃・空連空手道・ゲートボール・テニス・ラグビーフットボール・グラウンドゴルフ・カヌー・ボウリング・ゴルフ・レクリエーション・パークゴルフ・少林寺流空手道・ソフトバレー・太極拳・防具付空手道・パワーリフティング・少林寺拳法・トランポリン・なぎなた 全35種目 職員は、監査、総会、地区大会、県大会に事務局員として参加。当協会の事務局員として連携している。						
活動指標 (事務事業の活動量)		単位	平成31年度 (実績)	令和 2年度 (見込)	令和 3年度 (見込)	令和 4年度 (見込)
ア	各競技団体による大会の開催	回	218	230	102	230
イ						
ウ						
(2) 事務事業の目的						
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (左記 対象の大きさを表す指標)	単位	平成31年度 (実績)	令和 2年度 (見込)	令和 3年度 (見込)	令和 4年度 (見込)
ア	市体育協会加盟団体	団体	34	36	35	36
イ						
ウ						
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (左記 意図の達成度を表す指標)	単位	平成31年度 (実績)	令和 2年度 (目標)	令和 3年度 (目標)	令和 4年度 (目標)
ア	各競技団体の活性化を図る	回	2	4	6	4
イ	各競技団体の活性化を図る	回	8,134	9,000	8,068	9,000
ウ						0
(3) 総合計画との関係						
基本事業の目的、取組方針(総合計画より)						
年間を通して温暖な気候で全国有数の観光地でもある本市の特性を生かし、国内外を問わず、各種スポーツ団体のキャンプ等や各種大会を招致することにより、市の活性化や観光客の誘致によるスポーツ交流人口の拡大に努めます。 また、トップアスリート選手によるスポーツ教室の開催など、各競技の底辺拡大や競技スポーツの向上に繋がる施策を展開します。 さらに、「かごしま国体・かごしま大会」の開催を通して、市民の競技力向上や生涯にわたりスポーツ活動を継続できる環境づくりを目指します。						

3. 前年度の評価表に記載した課題		4. 事業費の推移					
令和 2年度の改善改革の内容(取り組むべき課題) ・市民のスポーツの普及振興及び競技スポーツの振興を図るため、競技団体、会員数の増加を図り、さらなるスポーツの発展に努める。 ・法人化に向けた検討・協議を行う。 ・「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会」に向けた協体制を整えていくことが必要ことから、より一層の支援・協力・相互連携を図る。		単位	31年度 決算	2年度 当初予算	3年度 当初予算	4年度 計画	
事業費 投入量	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	
		一般財源	千円	18,582	12,907	10,039	20,075
	事業費	千円	18,582	12,907	10,039	20,075	

5. 令和 2年度の実績及び成果	
(1) 令和 2年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> 市民の体力向上・健康増進及び競技力向上を目指して活動している霧島市スポーツ協会へ事業負担金の交付を行った。同協会は、35の競技団体が加盟し、市民の健康・体力向上及びスポーツ振興を目的とした事業を展開し、大会、組織強化、育成大会等を開催し競技力向上を図った。	(2) 令和 2年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載> 霧島市スポーツ協会加盟団体が開催する大会等の数は前年に比べ減少したが、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮しながら各競技団体の特色を活かした市民のスポーツの普及振興及び競技スポーツの振興が図られた。協会のさらなる発展のため加盟団体数の増加にも努めており、令和 2年度に1団体(なぎなた)加盟した。

事務事業 番号	02456	事務 事業名	市体育協会運営支援事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振返り <SEE (check)>		
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		総合評価
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A
		理由 市スポーツ協会が開催する多数のスポーツ大会等は、市民へのスポーツの普及振興と競技スポーツの振興に寄与している。また、市と協働するスポーツ事業も担っており、継続的に支援していくことは必要である。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>				
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充				
		維持			レ	
		縮小				
		休業止（統合含む）				
			皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入（予算）の方向性				
(2) 令和3年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	<ul style="list-style-type: none"> 市民のスポーツの普及振興及び競技スポーツの振興を図るため、競技団体、会員数の増加を図り、さらなるスポーツの発展に努める。 法人化に向けた検討・協議を引き続き行う。 「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会」に向けた協力体制を整えていくことが必要なことから、より一層の支援・協力・相互連携を図る。 					
(3) 令和4年度の方向性 (具体的な取組)	<ul style="list-style-type: none"> 市民のスポーツの普及振興及び競技スポーツの振興を図るため、競技団体、会員数の増加を図り、さらなるスポーツの発展に努める。 法人化に向けた検討・協議を引き続き行う。 					

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	職・氏名			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充				
		維持				
		縮小				
		休業止（統合含む）				
			皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入（予算）の方向性				
(2) 総評						

1. 基本情報						
事務事業番号	02457	事務事業名	国分運動公園・国分武道館管理運営事業		担当部	市民環境部
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)			担当課長	上小園 拓也
施策名	004	スポーツを楽しむ環境づくりの推進			グループ	施設管理グループ
基本事業名	003	スポーツ施設の整備			内線番号	3962
予算科目目	会計	一般会計			事業期間	単年度のみ
	款	10	教育費			単年度繰返(開始年度 ~)
	項	07	保健体育費			期間限定複数年度(令和2年度 ~ 令和6年度)
	目	03	社会体育施設費			
評価区分		標準評価	評価対象	2次評価	関連計画	霧島市都市公園条例・霧島市営体育施設設管条例 霧島市スポーツ振興計画・霧島市公共施設マネジメント計画

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

【施設の概要】所在地：霧島市国分清水309番地、施設及び開設日：国分体育館(昭和52年)、国分運動公園陸上競技場(平成8年)、国分球場(昭和51年)、庭球場(昭和51年)、多目的広場(平成5年)、多目的屋内運動場(平成11年)、国分武道館(昭和57年)、国分弓道場(昭和58年)、開館時間：8:30~22:00
【指定管理者】(株)エルグ・テクノ、指定期間：令和2年度~令和6年度
*指定管理者制度は平成18年に導入され、現在4期目に入っている。
【主な利用料金】国分体育館(960円/時間)、国分運動公園陸上競技場(1,170円/時間)、国分球場(520円/時間)、庭球場(300円/面)、多目的広場(670円/時間)、多目的屋内運動場(720円/時間)、国分武道館(480円/時間)、国分弓道場(490円/回)

活動指標(事務事業の活動量)	単位	平成31年度(実績)	令和2年度(見込)	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)	令和4年度(見込)
ア 指定施設数	施設	8	8	8	8	8
イ 指定管理者による自主事業実施数	件	27	30	17	30	30
ウ 指定管理者による自主事業実施数利用者確保のためのPR回数	回	27	30	17	30	30

(2) 事務事業の目的

対象(誰、何を対象にしているのか)	対象指標(左記対象の大きさを表す指標)	単位	平成31年度(実績)	令和2年度(見込)	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)	令和4年度(見込)
ア 市民	人口	人	124,367	124,181	124,882	123,908	123,639
イ							
ウ							

意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(左記意図の達成度を表す指標)	単位	平成31年度(実績)	令和2年度(目標)	令和2年度(実績)	令和3年度(目標)	令和4年度(目標)
ア 市民のスポーツ施設への関心が高まる	利用者アンケート「総合的な施設の印象」の「良かった・どちらかといえば良かった」の割合	%	89	95	96	95	95
イ 市民の健康及びスポーツ技術が向上する	年間利用者数	人	196,159	250,000	148,138	250,000	250,000
ウ							

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より)

地区自治公民館や自治会が行う施設整備や備品購入への支援を通して、地域におけるスポーツの振興を図ります。また、市民のスポーツ活動の拠点となるスポーツ施設の充実を図るため、老朽化した施設や設備の整備、バリアフリー化を年次的・計画的に行うとともに、適正な維持管理に努めます。さらに、「かごしま国体・かごしま大会」の開催に向け、選手や来場者が快適に利用できる施設整備に努めます。

3. 前年度の評価表に記載した課題

令和2年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)

・国体開催を控え、大会会場や練習会場として利用されることから、不具合が生じている部分については施設・設備の修繕を行う。
・令和3年度末に陸上競技場の3種公認継続申請を受験予定であり、あらかじめ検定員から指摘されている事項等を踏まえて、必要な改修を実施する。
・スポーツ庁から示された「感染拡大予防ガイドライン」に基づき、新型コロナウイルスの感染拡大予防に努める。

4. 事業費の推移		単位	31年度決算	2年度当初予算	2年度決算	3年度当初予算	4年度計画
事業費	投入量	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	447,553	54,198	50,247	54,198
事業費		千円	447,553	54,198	50,247	54,198	54,198

5. 令和2年度の実績及び成果

(1) 令和2年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>

【指定管理料実績】
・指定管理料実績 50,247千円

【市の活動実績】
・修繕 10件 3,239千円
・改修工事 4件 契約額 114,368千円

(2) 令和2年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

・利用者アンケートでは施設の総合的な印象において96.0%が「期待した以上に良かった」「期待通りだった」「まあまあだった」という結果を得られた。
コロナ禍において、スポーツ庁の「感染拡大予防ガイドライン」に基づき、指定管理者と協働し利用者の安全を図りながら運営を行った。
・指定管理者と月1回月例報告打ち合わせを行い、施設利用状況、苦情、改善点、連絡・報告事項等、密に連携を行った。

事務事業 番号	02457	事務 事業名	国分運動公園・国分武道館管理運営事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		総合評価
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A
		理由 市民がスポーツを行うための施設であり、施設を適切に管理することは市の責務であるため、継続して取り組むことが適当である。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の 事 業 向 成 果 性 (成 果)	拡 充			
	維 持			レ	
	縮 小				
	休廃止（統合含む）				
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
コスト投入（予算）の方向性					
(2) 令和3年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	<ul style="list-style-type: none"> 国体開催を控え、大会会場や練習会場として利用されることから、不具合が生じている部分については施設、設備の修繕を行う。 令和3年度末に陸上競技場の3種公認継続申請を受験予定であり、あらかじめ検定員から指摘されている事項等を踏まえて、必要な改修を実施する。合わせて、必要な備品の購入を行う。 スポーツ庁から示された「感染拡大予防ガイドライン」に基づき、新型コロナウイルスの感染拡大予防に努める。 				
(3) 令和4年度の方向性 (具体的な取組)	<ul style="list-style-type: none"> 霧島市のスポーツ活動の拠点施設として、市民が更に安心・安全に利用できるよう、計画的に修繕を行う。 国体開催を控え、大会会場や練習会場として利用されることから、不具合が生じている部分については施設、設備の修繕を行う。 				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者				職・氏名	
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の 事 業 向 成 果 性 (成 果)	拡 充					
	維 持						
	縮 小						
	休廃止（統合含む）						
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大		
コスト投入（予算）の方向性							
(2) 総評							

1. 基本情報						
事務事業番号	02458	事務事業名	国分総合プール管理運営事業	担当部	市民環境部	
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)		担当課	スポーツ・文化振興課	
施策名	004	スポーツを楽しむ環境づくりの推進		グループ	施設管理グループ	
基本事業名	003	スポーツ施設の整備		内線番号	3962	
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	10	教育費		単年度繰返(開始年度 ~)	
	項	07	保健体育費		期間限定複数年度(令和 2年度 ~ 令和 6年度)	
	目	03	社会体育施設費		根拠法令・条例等 霧島市営プールの設置及び管理に関する条例	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市スポーツ振興計画・霧島市公共施設マネジメント計画	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>						
(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)						
【施設の概要】所在地：霧島市国分中央一丁目14番78号、施設(開設年)：屋内プール(H3)、屋外プール(H3)、ふれあい温泉センター(H3)、開館時間：屋内プール及び屋外プール10:00~21:00、ふれあい温泉センター：休館中 【指定管理者】(株)エルグ・テクノ 管理期間：令和2年度~令和6年度						
【主な利用料金】屋内・屋外プール 一般：430円 高齢者：220円 児童生徒：220円 未就学児：無料 ふれあい温泉センター 210円						

活動指標 (事務事業の活動量)	単位	平成31年度 (実績)	令和 2年度 (見込)	令和 3年度 (見込)	令和 4年度 (見込)
ア 指定施設数	施設	3	3	3	3
イ 指定管理者による自主事業実施数	件	27	30	24	30
ウ 指定管理者による利用者確保のためのPR回数	回	27	30	24	30

(2) 事務事業の目的						
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (左記 対象の大きさを表す指標)	単位	平成31年度 (実績)	令和 2年度 (見込)	令和 3年度 (見込)	令和 4年度 (見込)
ア 市民	人口	人	124,367	124,181	124,882	123,908
イ						
ウ						
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (左記 意図の達成度を表す指標)	単位	平成31年度 (実績)	令和 2年度 (目標)	令和 3年度 (目標)	令和 4年度 (目標)
ア 市民のスポーツ施設への関心が高まる	利用者アンケート「総合的な施設の印象」の「良かった・どちらかといえば良かった」の割合	%	82.20	95	85	95
イ 市民の健康及びスポーツ技術が向上する	年間利用者数	人	52,076	65,000	33,183	65,000
ウ						

(3) 総合計画との関係						
基本事業の目的、取組方針(総合計画より)						
地区自治公民館や自治会が行う施設整備や備品購入への支援を通して、地域におけるスポーツの振興を図ります。また、市民のスポーツ活動の拠点となるスポーツ施設の充実を図るため、老朽化した施設や設備の整備、バリアフリー化を年次的・計画的に行うとともに、適正な維持管理に努めます。さらに、「かごしま国体・かごしま大会」の開催に向け、選手や来場者が快適に利用できる施設整備に努めます。						

3. 前年度の評価表に記載した課題	
令和 2年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)	
<ul style="list-style-type: none"> 施設・設備の老朽化により不具合が生じている箇所について、本市のスポーツ活動の拠点施設として、市民が安心・安全に利用できるよう修繕を行う必要がある。 利用者が快適に施設を利用いただけるように、エアハンドリングユニット改修を行う。 スポーツ庁から示された「感染拡大予防ガイドライン」に基づき、新型コロナウイルスの感染拡大予防に努める。 	

4. 事業費の推移		単位	31年度 決算	2年度 当初予算	2年度 決算	3年度 当初予算	4年度 計画
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	37,850	45,168	41,612	43,108
		事業費	千円	37,850	45,168	41,612	43,108

5. 令和 2年度の実績及び成果	
(1) 令和 2年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 令和 2年度の実績(取組)による成果を記載>
【指定管理料実績】 ・指定管理料実績 41,252千円 【市の活動実績】 ・修繕料 10件、3,485千円 ・賃借料 2件 1,561千円	・利用者アンケートでは施設の総合的な印象において85.0%が「期待した以上に良かった」「期待通りだった」「まあまあだった」という結果を得られた。 コロナ禍において、スポーツ庁の「感染拡大予防ガイドライン」に基づき、指定管理者と協働し利用者の安全を図りながら運営を行った。 ・指定管理者と月1回月例報告打ち合わせを行い、施設利用状況、苦情、改善点、連絡・報告事項等、密に連携を図った。

事務事業 番号	02458	事務 事業名	国分総合プール管理運営事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振り返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		理由
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		市民がスポーツを行うための施設であり、施設を適切に管理することは市の責務であるため、今後も継続して取り組むことが適当である。
総合評価		A

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業(成果)の方向性	拡充			
		維持		レ	
		縮小			
	休廃止(統合含む)				
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入(予算)の方向性			
(2) 令和3年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	<ul style="list-style-type: none"> 施設・設備の老朽化により不具合が生じている箇所について、本市のスポーツ活動の拠点施設として、市民が安心・安全に利用できるよう修繕を行う必要がある。 スポーツ庁から示された「感染拡大予防ガイドライン」に基づき、新型コロナウイルスの感染拡大予防に努める。 令和3年度末に競泳プール再公認申請を受験する。 				
(3) 令和4年度の方向性(具体的な取組)	水難事故を防止するために、指定管理者に施設管理を徹底してもらうと共に、定期点検等により、危険箇所の早期発見を心がけ、利用者の安全を確保する。				

8. 2次評価結果(担当部長評価)		評価者	職・氏名
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業(成果)の方向性	拡充	
		維持	
		縮小	
	休廃止(統合含む)		
		皆減	縮小 維持 拡大
		コスト投入(予算)の方向性	
(2) 総評			

1. 基本情報					
事務事業番号	02459	事務事業名	海浜・北・南公園・児童体育館管理運営事業	担当部	市民環境部
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)		担当課長	上小園 拓也
施策名	004	スポーツを楽しむ環境づくりの推進		グループ	施設管理グループ
基本事業名	003	スポーツ施設の整備		内線番号	3961
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ 単年度繰返(開始年度 ~) 期間限定複数年度(平成28年度 ~ 令和2年度)
	款	10 教育費			
	項	07 保健体育費			
	目	03 社会体育施設費			
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市都市公園条例ほか 霧島市スポーツ振興計画

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)
 【施設の概要】所在地：(国分海浜公園)霧島市国分下井2512番地(北公園)霧島市国分清水5丁目9番地39(南公園)霧島市国分上井183番地(児童体育館)霧島市国分広瀬2丁目34番地11(春山緑地公園)霧島市国分重久5550番地2 (開設日)：国分海浜公園(昭和58、59、62年、平成11年)、国分北公園(平成2年)、南公園(昭和58年)、児童体育館(昭和50年)、春山緑地公園(平成26年度) 開館時間：(国分海浜公園、北公園、南公園)8:30~22:00 (児童体育館)10:00~22:00 (春山緑地公園)8:30~18:30(10~3月は17:00まで)
 【指定管理者】(一財)霧島市施設管理公社、指定期間：平成28年度~令和2年度、(新)令和3年度~令和7年度
 【主な利用料金】国分海浜公園体育館：バレーボール(1面につき1時間)一般240円・子ども120円、国分北公園多目的広場：ソフトボール(1面につき1時間)220円、国分南公園：ソフトボール場：220円(1時間)、国分児童体育館：240円(1時間)、春山緑地公園：野球(1面につき)360円

活動指標(事務事業の活動量)	単位	平成31年度(実績)	令和2年度(見込)	令和3年度(見込)	令和4年度(見込)
ア 指定施設数	施設	11	11	11	11
イ 指定管理者による自主事業実施数	件	6	3	6	6
ウ 指定管理者による自主事業実施数利用者確保のためのPR回数	回	6	3	6	6

(2) 事務事業の目的

対象(誰、何を対象にしているのか)	対象指標(左記対象の大きさを表す指標)	単位	平成31年度(実績)	令和2年度(見込)	令和3年度(見込)	令和4年度(見込)
ア 市民	人口	人	124,367	124,181	124,882	123,908
イ						
ウ						
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(左記意図の達成度を表す指標)	単位	平成31年度(実績)	令和2年度(目標)	令和3年度(目標)	令和4年度(目標)
ア 市民のスポーツ施設への関心が高まる	利用者アンケート「施設の総合的印象」の「期待した以上によかった・期待通りだった」の割合	%	82	80	69	80
イ 市民の健康及びスポーツ技術が向上する	年間利用者数	人	136,552	120,000	119,724	120,000
ウ						

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より)
 地区自治公民館や自治会が行う施設整備や備品購入への支援を通して、地域におけるスポーツの振興を図ります。
 また、市民のスポーツ活動の拠点となるスポーツ施設の充実を図るため、老朽化した施設や設備の整備、バリアフリー化を年次的・計画的に行うとともに、適正な維持管理に努めます。
 さらに、「かごしま国体・かごしま大会」の開催に向け、選手や来場者が快適に利用できる施設整備に努めます。

3. 前年度の評価表に記載した課題		4. 事業費の推移						
令和2年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)		単位	31年度決算	2年度当初予算	2年度決算	3年度当初予算	4年度計画	
・経年劣化が懸念されるが、限りある予算のなかで、安全面、利用者ニーズ、法令等を把握の上、適切な優先順位の設定に努める。 ・スポーツ庁から示された「感染拡大予防ガイドライン」に基づき、新型コロナウイルスの感染拡大予防に努める。 ・高木枯枝の落下による利用者の危険性を鑑み、伐採業務を行う。		事業費	千円	0	0	0	0	
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	
		一般財源	千円	34,119	34,399	34,756	37,739	37,739
		事業費	千円	34,119	34,399	34,756	37,739	37,739

5. 令和2年度の実績及び成果

(1) 令和2年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 令和2年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
【指定管理料実績】 ・指定管理料実績 34,757千円 【市の活動実績】 ・修繕 6件 3,871千円 ・委託 1件 465千円	台風9号・10号の災害により春山緑地公園の審判室が2棟全壊するなど施設の被災があったが指定管理者と連携をとり迅速に対応・復旧ができた。また、コロナ禍において、スポーツ庁の「感染拡大予防ガイドライン」に基づき、指定管理者と協働し利用者の安全を図りながら運営を行った。

事務事業 番号	02459	事務 事業名	海浜・北・南公園・児童体育館管理運営事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振返り <SEE (check) >			
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？	
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である	
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である	
	結びついていない	見直す必要がある	
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？	
	向上する余地はかなりある	影響がある	
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある	
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない	
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	
	削減できない	削減できない	
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある	
	削減できる	削減できる	
D 公平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？		
	公平・公正である		
	見直す必要がある		
総合評価判定基準		総合評価	理由
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A	市民がスポーツを行うための施設であり、施設を適切に管理することは市の責務であるため、今後も継続して取り組むことが適当である。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充			
	維持			レ	
	縮小				
	休廃止（統合含む）				
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入（予算）の方向性			
(2) 令和3年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	<ul style="list-style-type: none"> ・経年劣化が懸念されるが、限りある予算のなかで、安全面、利用者ニーズ、法令等を把握の上、適切な優先順位の設定に努める。 ・スポーツ庁から示された「感染拡大予防ガイドライン」に基づき、新型コロナウイルスの感染拡大予防に努める。 ・経年劣化に伴う国分海浜公園第1グラウンド芝欠損箇所の大規模修繕（張替）を行い、養生等に係るメンテナンス方法を習得することで修繕時状態を持続できるよう努める。 				
(3) 令和4年度の方向性 (具体的な取組)	指定管理者の蓄積された知識、技術等を活かすため、施設管理者との月例報告会（毎月）を設けるようにすることで、施設の修繕等の適切な優先順位を定めるため、利用者ニーズや競技団体の意見を把握する取組みを行う。また、日々変わり行くコロナ禍の感染状況を正確に把握し適切な安全運営を行う。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者		職・氏名	
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充			
	維持				
	縮小				
	休廃止（統合含む）				
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入（予算）の方向性			
(2) 総評					

1. 基本情報						
事務事業番号	02464	事務事業名	隼人運動施設管理運営事業	担当部	市民環境部	
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)		担当課	スポーツ・文化振興課	
施策名	004	スポーツを楽しむ環境づくりの推進		グループ	施設管理グループ	
基本事業名	003	スポーツ施設の整備		内線番号	3962	
予算科目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	10 教育費			単年度繰返(開始年度 ~)	
	項	07 保健体育費			期間限定複数年度(令和 2年度 ~ 令和 6年度)	
目	03 社会体育施設費		根拠法令・条例等	霧島市営体育施設の設置及び管理に関する条例		
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市スポーツ振興計画・霧島市公共施設マネジメント計画	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

【施設の概要】所在地：霧島市隼人町内山田1丁目14番地16、施設及び開設日：隼人運動場(昭和44年)、隼人体育館(昭和45年)、隼人武道場(昭和55年)、隼人弓道場(平成14年)、開館時間：8：30～22：00

【指定管理者】NPO法人隼人錦江スポーツクラブ、指定期間：令和2年度～令和6年度
*隼人運動施設管理運営事業の指定管理者制度は平成18年に導入され、現在4期目。

【主な利用料金】隼人運動場ソフトボール1面(220円/時間)、隼人体育館バレーボール1面(240円/時間)、隼人武道場1面(120円/時間)、隼人弓道場(60円/回)

活動指標(事務事業の活動量)	単位	平成31年度(実績)	令和2年度(見込)	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)	令和4年度(見込)
ア 指定施設数	施設	4	4	4	4	4
イ 指定管理者による自主事業実施数	件	8	8	8	8	8
ウ 指定管理者による自主事業実施数利用者確保のためのPR回数	回	71	8	8	8	8

(2) 事務事業の目的

対象(誰、何を対象にしているのか)	対象指標(左記対象の大きさを表す指標)	単位	平成31年度(実績)	令和2年度(見込)	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)	令和4年度(見込)
ア 市民	人口	人	124,367	124,181	124,882	123,908	123,639
イ							
ウ							

意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(左記意図の達成度を表す指標)	単位	平成31年度(実績)	令和2年度(目標)	令和2年度(実績)	令和3年度(目標)	令和4年度(目標)
ア 市民のスポーツ施設への関心が高まる	利用者アンケート「総合的な施設の印象」の「良かった・期待通りだった」の割合	%	62	65	74	70	70
イ 市民の健康及びスポーツ技術が向上する	年間利用者数	人	117,613	145,000	97,617	145,000	145,000
ウ							

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より)

地区自治公民館や自治会が行う施設整備や備品購入への支援を通して、地域におけるスポーツの振興を図ります。また、市民のスポーツ活動の拠点となるスポーツ施設の充実を図るため、老朽化した施設や設備の整備、バリアフリー化を年次的・計画的に行うとともに、適正な維持管理に努めます。さらに、「かごしま国体・かごしま大会」の開催に向け、選手や来場者が快適に利用できる施設整備に努めます。

3. 前年度の評価表に記載した課題

令和2年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)

施設の老朽化や不具合等も多数報告されており、今後も安全な施設運営をする上で、施設の維持補修費は増加すると考えられるので、引き続き指定管理者との連携を深め、適切かつ計画的な維持補修に努める。また、かごしま国体のハンドボール競技の会場となっているので、引き続き競技団体と連携して準備を行っている。なお新型コロナウイルス感染症対策として、スポーツ庁が出している公共施設運営のガイドラインに沿って適切な運営を行っていきたい。

4. 事業費の推移		単位	31年度決算	2年度当初予算	2年度決算	3年度当初予算	4年度計画
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	13,675	14,911	15,066	14,905
事業費		千円	13,675	14,911	15,066	14,905	14,905

5. 令和2年度の実績及び成果

(1) 令和2年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 令和2年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<p>【指定管理料実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定管理料実績 14,913千円 <p>【市の活動実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 修繕 6件 2,570千円 備品 1件 191千円 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者アンケートでは、「総合的な施設の印象」の項目で、「期待した以上に良かった・期待どおりだった」が74%で昨年度よりも増加した。 指定管理者と協力のもと施設を良好な状態で維持し、利用者の利便性の向上が図られた。 コロナ禍において、スポーツ庁の「感染拡大予防ガイドライン」に基づき、指定管理者と連携し利用者の安全を図りながら運営を行った。

事務事業 番号	02464	事務 事業名	隼人運動施設管理運営事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		総合評価
A: 継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B: 事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C: 事業の統合、休・廃止の検討		A
		理由 市民がスポーツを行うための施設であり、施設を適切に管理することは市の責務であるため、今後も継続して取り組むことが適当である。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充			
		維 持		レ	
		縮 小			
	休廃止（統合含む）				
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
		コスト投入（予算）の方向性			
(2) 令和 3年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	施設の老朽化や不具合等も多数報告されており、今後も安全な施設運営をする上で、施設の維持補修費は増加すると考えられるので、引き続き指定管理者との連携を深め、適切かつ計画的な維持補修に努める。スポーツ庁の「感染拡大予防ガイドライン」に基づき、新型コロナウイルスの感染拡大予防に努める。				
(3) 令和 4年度の方向性 (具体的な取組)	安心安全な施設運営ができるよう指定管理者と連携して、必要な施設整備や備品整備を計画的に進めるとともに、多くの市民の方がスポーツを親しむことができるよう自主講座の充実を図る。また、日々変わり行くコロナ禍の感染状況を正確に把握し適切な安全運営を行う。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	職・氏名
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充	
		維 持	
		縮 小	
	休廃止（統合含む）		
		皆 減	縮 小 維 持 拡 大
		コスト投入（予算）の方向性	
(2) 総評			

1. 基本情報						
事務事業番号	02465	事務事業名	隼人松永運動施設管理運営事業	担当部	市民環境部	
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)		担当課	スポーツ・文化振興課	
施策名	004	スポーツを楽しむ環境づくりの推進		グループ	施設管理グループ	
基本事業名	003	スポーツ施設の整備		内線番号	3962	
予算科目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	10	教育費		単年度繰返(開始年度 ~)	
	項	07	保健体育費		期間限定複数年度(令和2年度 ~ 令和6年度)	
目	03	社会体育施設費		根拠法令・条例等	霧島市営プール設置管理に関する条例等	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市スポーツ振興計画・霧島市公共施設マネジメント計画	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

【施設の概要】所在地：(霧島市隼人庭球場・隼人健康温水プール)霧島市隼人町松永1678番地1、(隼人温水プール)霧島市隼人町松永二丁目80番地
 施設及び開設日：霧島市隼人庭球場(平成15年寄附)、隼人健康温水プール(平成16年)、隼人温水プール(昭和44年)
 開館時間：隼人庭球場8:30~21:00、隼人健康温水プール・隼人温水プール10:00~21:00

【指定管理者】NPO法人隼人錦江スポーツクラブ、指定期間：令和2年度~令和6年度
 *隼人松永運動施設管理運営事業の指定管理者制度は平成18年に導入され、現在4期目。
 【主な利用料金】隼人庭球場：1コートにつき300円/時間(児童生徒は半額)、隼人健康温水プール・隼人温水プール：一般330円/回、高齢者・児童生徒170円/回

活動指標(事務事業の活動量)	単位	平成31年度(実績)	令和2年度(見込)	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)	令和4年度(見込)
ア 指定施設数	施設	3	3	3	3	3
イ 指定管理者による自主事業実施数	件	6	6	4	6	6
ウ 指定管理者による自主事業実施数利用者確保のためのPR回数	回	6	6	6	6	6

(2) 事務事業の目的

対象(誰、何を対象にしているのか)	対象指標(左記対象の大きさを表す指標)	単位	平成31年度(実績)	令和2年度(見込)	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)	令和4年度(見込)
ア 市民	人口	人	124,367	124,181	124,882	123,908	123,639
イ							
ウ							
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(左記意図の達成度を表す指標)	単位	平成31年度(実績)	令和2年度(目標)	令和2年度(実績)	令和3年度(目標)	令和4年度(目標)
ア 市民のスポーツ施設への関心が高まる	利用者アンケート「期待した以上によかった・期待どおりだった」の割合	%	69	80	75	80	80
イ 市民の健康及びスポーツ技術が向上する	年間利用者数	人	40,666	45,000	35,754	45,000	45,000
ウ							

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より)

地区自治公民館や自治会が行う施設整備や備品購入への支援を通して、地域におけるスポーツの振興を図ります。
 また、市民のスポーツ活動の拠点となるスポーツ施設の充実を図るため、老朽化した施設や設備の整備、バリアフリー化を年次的・計画的に行うとともに、適正な維持管理に努めます。
 さらに、「かごしま国体・かごしま大会」の開催に向け、選手や来場者が快適に利用できる施設整備に努めます。

3. 前年度の評価表に記載した課題

令和2年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)

施設の老朽化が進み、施設の設備に不具合が見られるため、指定管理者と協議のもと、優先順位を検討しながら施設の補修を進めていきたい。また今年度は指定管理期間の1年目であり、市民の施設への評価が向上するように指定管理者と必要な対策を協議・実施していきたい。なお新型コロナウイルス感染症対策として、スポーツ庁が出している公共施設運営のガイドライン等に沿って適切な運営を行ってきたい。

4. 事業費の推移

事業費	単位	31年度	2年度		3年度	4年度
		決算	当初予算	決算	当初予算	計画
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
県支出金	千円	0	0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
一般財源	千円	20,393	24,615	25,171	24,585	24,585
事業費	千円	20,393	24,615	25,171	24,585	24,585

5. 令和2年度の実績及び成果

(1) 令和2年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 令和2年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<p>【指定管理料実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定管理料実績 25,171千円 <p>【市の活動実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 修繕 2件 562千円 備品 2件 370千円 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者アンケートでは施設運営の満足度において75%が「期待した以上によかった・期待どおりだった」と回答し、昨年度と比較して増加した。 コロナ禍において、スポーツ庁の「感染拡大予防ガイドライン」に基づき、指定管理者と協働し利用者の安全を図りながら運営を行った。

事務事業 番号	02465	事務 事業名	隼人松永運動施設管理運営事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振り返り <SEE (check) >			
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？	
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である	
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である	
	結びついていない	見直す必要がある	
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？	
	向上する余地はかなりある	影響がある	
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある	
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない	
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	
	削減できない	削減できない	
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある	
	削減できる	削減できる	
D 公 平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？		
	公平・公正である		
	見直す必要がある		
総合評価判定基準		総合評価	理由
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A	市民がスポーツを行うための施設であり、施設を適切に管理することは市の責務であるため、今後も継続して取り組むことが適当である。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の 事 業 向 成 果 性 (成 果)	拡 充			
		維 持			レ
		縮 小			
		休廃止（統合含む）			
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
		コスト投入（予算）の方向性			
(2) 令和3年度の改革改善の内容（取り組むべき課題）	施設の老朽化が進み、施設の設備に不具合が見られるため、指定管理者と協議のもと、優先順位を検討しながら施設の補修を進めていきたい。スポーツ庁の「感染拡大予防ガイドライン」に基づき、新型コロナウイルスの感染拡大予防に努める。				
(3) 令和4年度の方向性（具体的な取組）	隼人温水プールは昭和44年に建設され約50年が経過しており、施設の老朽化が激しい。また屋根や外壁がスレート材のため、冬になると室温及び水温の維持ができないため、非常に寒く利用者からも改善を求める声が大い。また施設を支える鉄骨についても、サビや腐食が進んでいる。今後の施設のあり方について市の公共施設管理計画との整合性を図りながら検討を行う。また、日々変わり行くコロナ禍の感染状況を正確に把握し適切な安全運営を行う。				

8. 2次評価結果（担当部長評価）		評価者	職・氏名
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の 事 業 向 成 果 性 (成 果)	拡 充	
		維 持	
		縮 小	
		休廃止（統合含む）	
		皆 減	縮 小 維 持 拡 大
		コスト投入（予算）の方向性	
(2) 総評			

1. 基本情報						
事務事業番号	02467	事務事業名	体育施設維持管理事業（指定管理者以外）		担当部	市民環境部
政策名	004	はぐくみ（社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり）			担当課	スポーツ・文化振興課
施策名	004	スポーツを楽しむ環境づくりの推進			担当課長	上小園 拓也
基本事業名	003	スポーツ施設の整備			グループ	施設管理グループ
予算科目	会計 一般会計	事業期間	単年度のみ 単年度繰返（開始年度 平成17年度 ~ ） 期間限定複数年度（ ~ ）			
目	10 教育費	根拠法令・条等				
	07 保健体育費					
	03 社会体育施設費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価		関連計画	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>						
(1) 事務事業の概要 （具体的なやり方、手順、詳細を記述）						
スポーツ・文化振興課及び各総合支所地域振興課が所管する施設のうち、指定管理者制度を導入していない市の直営施設の管理運営と、市が行わなければならない1件あたり10万円（消費税含む）以上の修繕を行う事業。 64施設。						
【事務事業の流れ】						
4月下旬までに各所管課より修繕依頼を提出		5月中旬までに各施設の修繕要望箇所を把握。必要に応じて現地調査。			5月中旬までに各地区において修繕の執行	
優先順位を付して、各地区担当者へ予算配当						

活動指標 （事務事業の活動量）		単位	平成31年度（実績）	令和 2年度（見込）	令和 3年度（見込）	令和 4年度（見込）
ア	修繕を実施した件数	件	25	45	64	45
イ	購入した備品の件数	回	11	15	11	15
ウ						

(2) 事務事業の目的						
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 （左記 対象の大きさを表す指標）	単位	平成31年度（実績）	令和 2年度（見込）	令和 3年度（見込）	令和 4年度（見込）
ア	市民	人口	124,367	124,181	124,882	123,908
イ						
ウ						
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 （左記 意図の達成度を表す指標）	単位	平成31年度（実績）	令和 2年度（目標）	令和 3年度（目標）	令和 4年度（目標）
ア	施設を開館する	開館した施設数	0	0	0	0
イ	市民のスポーツ施設への関心が高まる	利用者アンケート「総合的な施設の印象」の「良かった・どちらかといえば良かった」の割合	88.90	90	87	90
ウ						

(3) 総合計画との関係						
基本事業の目的、取組方針（総合計画より）						
地区自治公民館や自治会が行う施設整備や備品購入への支援を通して、地域におけるスポーツの振興を図ります。						
また、市民のスポーツ活動の拠点となるスポーツ施設の充実を図るため、老朽化した施設や設備の整備、バリアフリー化を年次的・計画的に行うとともに、適正な維持管理に努めます。						
さらに、「かごしま国体・かごしま大会」の開催に向け、選手や来場者が快適に利用できる施設整備に努めます。						

3. 前年度の評価表に記載した課題		4. 事業費の推移					
令和 2年度の改善改革の内容（取り組むべき課題）		単位	31年度 決算	2年度 当初予算	3年度 当初予算	4年度 計画	
施設の老朽化や利用者が偏っている施設もあることから、公共施設管理計画に基づき、施設の統廃合や削減の可能性について検討する。		事業費	0	0	5,946	0	
投入量	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	1,250	
		地方債	千円	0	0	0	
		その他	千円	2,311	186	193	
		一般財源	千円	209,140	41,889	102,407	
		事業費	千円	211,451	42,075	108,546	

5. 令和 2年度の実績及び成果	
(1) 令和 2年度の実績（取組） <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 令和 2年度の実績 <左記の実績（取組）による成果を記載>
【直営施設実績】 ・11施設 【10万円以上の修繕実績】 ・64件 30,087千円 【備品購入の実績】 ・11件 8,175千円	・64件の修繕を実施し、利用者の安全、安心な利用環境を提供でき、長寿命化策が図られた。 ・11件の備品購入を実施し、大会等で利用する備品の充実を図り、老朽化した備品の改善を行ったことで、スムーズな大会運営が遂行された。 ・直営施設については、地域活動での利用が多く、利用状況に即した事務手続きを運用したことで、地域住民の利便性を図ることができた。

事務事業 番号	02467	事務 事業名	体育施設維持管理事業（指定管理者以外）	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振り返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		総合評価
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A
		理由 市民がスポーツを行うための施設であり、施設を適切に管理することは市の責務であるため、今後も継続して維持管理及び修繕を行うことが適当である。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充			
	維持			レ	
	縮小				
	休廃止（統合含む）				
		皆減	縮小	維持	拡大
コスト投入（予算）の方向性					
(2) 令和3年度の改革改善の内容（取り組むべき課題）	施設の老朽化や利用者が偏っている施設もあることから、公共施設管理計画に基づき、施設の統廃合や削減の可能性について検討する。				
(3) 令和4年度の方向性（具体的な取組）	公共施設管理計画に基づき、施設のあり方について検討を行い、維持と判断した施設については、安全が確保できるよう維持管理を行う。				

8. 2次評価結果（担当部長評価）		評価者	職・氏名
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充	
	維持		
	縮小		
	休廃止（統合含む）		
		皆減	縮小 維持 拡大
コスト投入（予算）の方向性			
(2) 総評			

